タカラ 木製システムキッチン設置説明書

もくじ

１．設置される方へのお願い

●キッチン設置者の安全と使用者の安全確保のため、この設置説明書をよくお読みになり、安全で正しい設置を行ってください。

●本説明書は、ワークトップおよびフロアベースキャビネットのものです。その他のキャビネットおよびビルトイン機器・水栓金具は、それぞれに添付する設置説明書をご覧いただき、正しい設置を行ってください。

●設置完了後、試運転および各部の点検を行い、異常のないことを確かめてください。

●本体に同梱されている取扱説明書等は、お客様にお渡しする大切な書類です。紛失や汚れのないように保管し、設置完了後、お客様にお渡しください。

2. 安全上のご注意

必ずお守りください。

設置の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しく設置してください。

●表示内容を無視して誤った設置をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

表示	内容
⚠警告	この表示の欄は「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
⚠注意	この表示の欄は「傷害を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される」内容です。

●お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

図記号	内容
⊘	このような図記号は、してはいけない「禁止」の内容です。
❗	このような図記号は、必ず実行していただく「強制」の内容です。

⚠警告

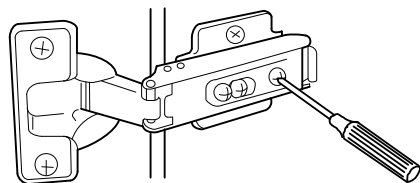
ステンレス製ワークトップやシンクを取り扱うときは、必ず保護手袋をしてください。

手袋をしないで切断面に触ると、けがをする恐れがあります。

電気工事、ガス工事、水道工事は、関連する法令・規定にしたがって、必ず「有資格者」が行ってください。

接続や固定が不完全な場合は、火災、ガス漏れ、水漏れの原因になることがあります。

⚠注意

設置完了後は、扉の傾き・ガタツキ・丁番の緩みのないことを必ず確認してください。

扉の取付に異常があると、使用中に扉が落下してけがをする恐れがあります。

設置に使われる溶剤・洗剤・接着剤・その他薬品については、それぞれの注意表示に従って正しくお使いください。

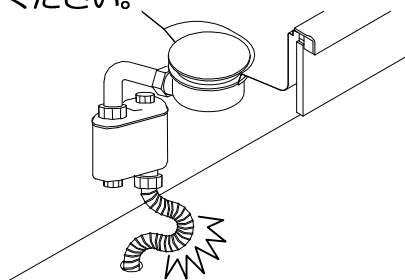
誤った使い方をすると、人体に影響がでたり、使用部材の損傷や劣化の原因のなる恐れがあります。

排水器具・排水ホースの取付けおよび接続部分のシールは確実に行ってください。

取付けやシールが不十分な場合は、水が漏れたり湿気が上がり床などが腐る恐れがあります。

包丁差しを取付ける時は、ネジの緩みや浮きのないよう、正しく取付けてください。

取付け方を誤ると、使用中に包丁差しがはずれてけがをする恐れがあります。

排水ホースは、U字型に曲げたり、折り曲げて取付けないでください。

排水能力が低下して、シンクから水があふれ、床を汚す恐れがあります。

キッチンに組み込まれる電気製品・調理機器・レンジフード・および水栓金具等は、それぞれの設置説明書・製品本体の表示事項を守り、正しく設置してください。

設置を誤ると、思わぬ事故や故障の原因になる恐れがあります。

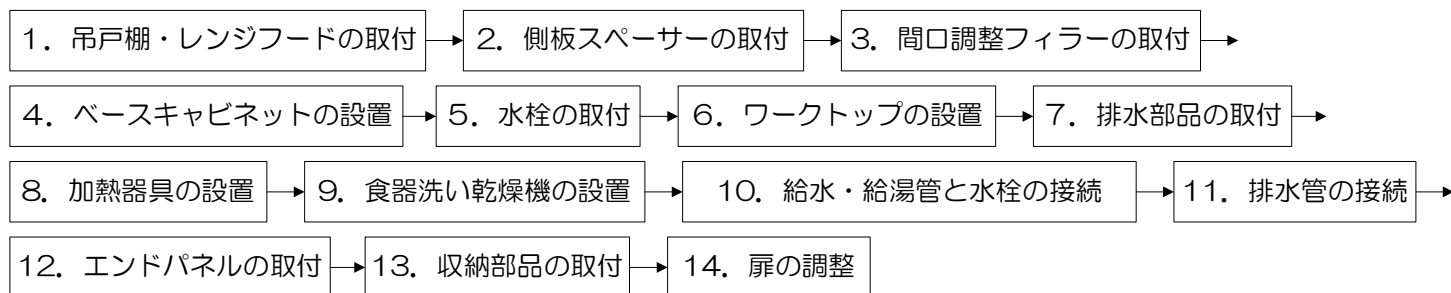
3．設置前のご確認

●注文した製品が納入されているか確認してください。
●キッチンの取り付け・設置にあたっては、建築の水平、垂直の精度、また設備設計図に基づいた給排水管、ガス配管、電気配線、キャビネット取付用下地等の位置と仕様が正しくできていないと安全な取り付け・設置ができません。事前現場確認の結果、不具合が生じた場合は、建築現場管理者に不具合箇所を説明し、修正・手直しの依頼をしてください。
●設置する場所の両端が壁の場合、壁間の寸法がワークトップ間口より6～7mm以上長いことを確認してください。
●ガス種、電圧（１００V、２００V）、周波数50Hz、60Hz）を確認してください。
●各商品に下記の付属部品および組付用小物セットがあるか確認してください。
●オプション品については、付属の説明書をお読みください。

機　　種	内　　　容	数量
ワークトップ	排水パイプ（※1） 排水管アダプター（※1） 小物カゴ（Zシンク・ＺＳシンク･人大シンクのみ） ネジ・金具類 クッションテープ（人造大理石のみ）（※2） 人造大理石トップ接着セット（人造大理石L型のみ）	1 1 1 — 2 1
シンクキャビネット	配管蓋（シンク下食洗タイプのみ） 食洗架台隠し蓋（シンク下食洗タイプのみ） 包丁差（扉裏ホーローパネル仕様のみ） フロアキャビネット用設置説明書（本書） 木製システムキッチン取扱説明書 吊戸棚設置説明書 ネジ・金具類	1 1 1 1 1 1 —
食洗下台キャビネット	天板補強板（※3） ネジ・金具類（※3）	1 —
コンロキャビネット コンロ調理キャビネット	コンロ配管蓋 ネジ・金具類（スライドタイプのみ）	1 —
ＳトラップMSK	排水器具ＡＨ 排水エルボ Ｓ管トラップ	1 1 1
NトラップK-J	N41トラップ 排水エルボ	1 1
ＳＫハイスイＴＹ-Ａ	袋ナット	1
側板スペーサー	取付桟（10cm板材、両面テープ付） 横台輪隠し板（448x117mm、アイボリー色） L金具 取付桟 ネジ	1 1 2 1 —

※1　オフェリア/オフェリアRは、別売部品となります。
※2　オフェリアは、付属されません。
※3　オフェリアは、バリエーション選択にて付属されます。

4. 設置方法

下記の手順にしたがって設置作業を進めてください。

1．吊戸棚・レンジフードの取付

吊戸棚の取付は、別冊の吊戸棚取扱・設置説明書にしたがって行ってください。
レンジフードの取付は、レンジフード付属の設置説明書にしたがって行ってください。

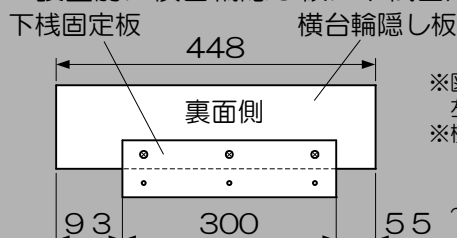
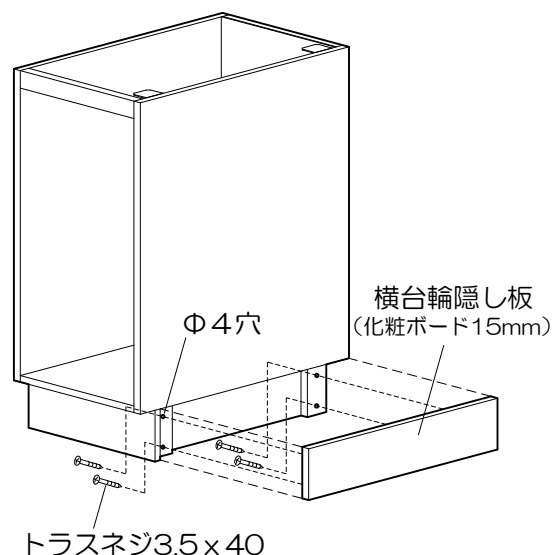
2．側板スペーサーの取付　側板スペーサーは、別売部品です

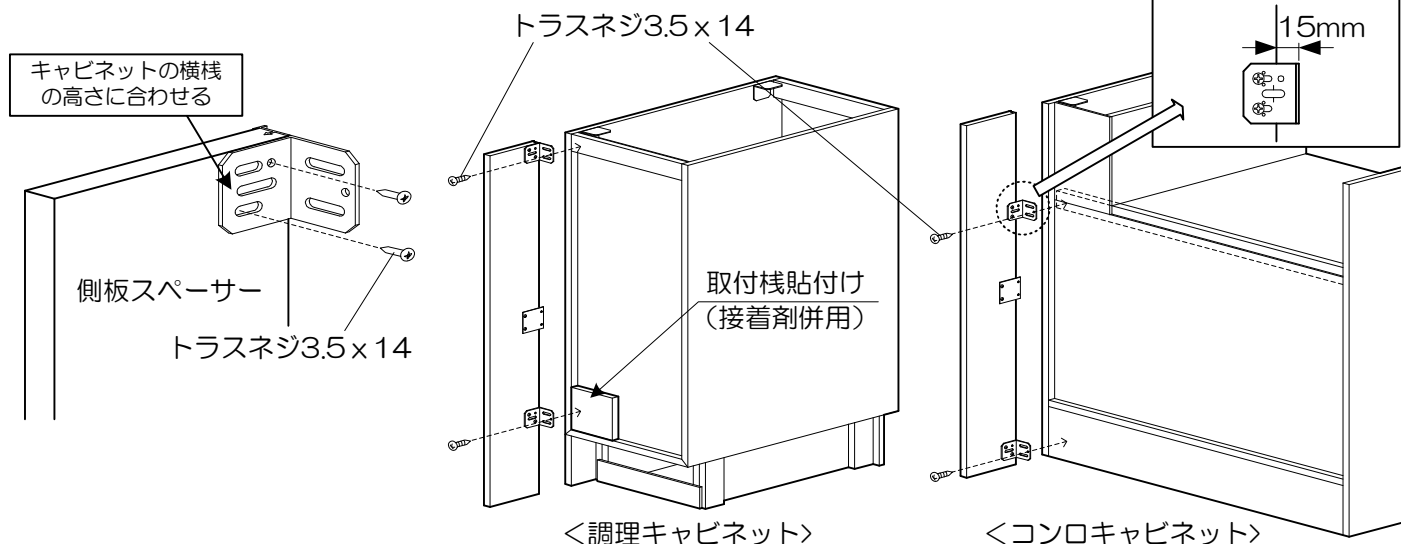
コンロキャビネットまたは調理キャビネットがオープン側に設置される配列で、エンドパネルを設置しない場合は、側板スペーサーの取付が必要です。

【1．横台輪隠し板の取付】

扉タイプ、スライドタイプの調理キャビネットで、図のように側板下部に段差がある場合は、横台輪隠し板の取付が必要です。

①キャビネットオープン側の側板下部段差面に固定用穴（φ４）を４箇所あけてください。
②側板スペーサーに付属の横台輪隠し板をトラスネジ3.5ｘ40で側板段差部に固定してください。

注）台輪スペーサー（高さ90cm対応）を取付ける場合は、
　　設置前に横台輪隠し板に下桟固定板を取付けてください。

※図は右側設置の場合です。
　左側設置の場合は左右対称になります。
※横台輪隠し板の取付方法は、６ページ【４．台輪スペーサーの取付】の「～扉タイプ、スライドタイプの場合～」を参照してください。

【2．側板スペーサーの取付】

①キャビネット後面下部に横桟が無い場合は、付属の取付桟を貼付けしてください（接着剤併用）。
②側板スペーサーの上下に、L金具をトラスネジ3.5ｘ14で取付けてください。
③側板スペーサーを、側板後部に、トラスネジ3.5ｘ14で固定してください。

3．間口調整フィラーの取付

間口調整フィラーの取付は、間口調整フィラー付属の設置説明書にしたがって行ってください。

4．ベースキャビネットの設置

【1．梱包補助材の取りはずし】

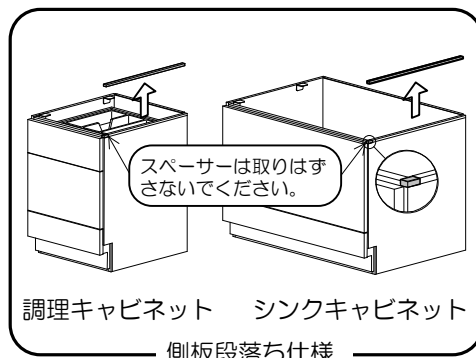
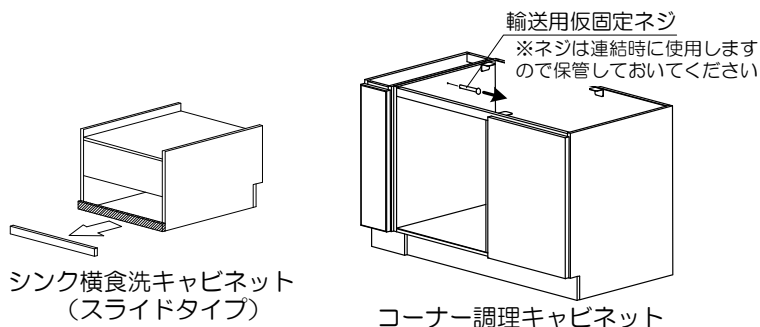
キャビネットには、梱包補助材（輸送時養生用）が取付られている場合があります。梱包からキャビネットを取り出したあとで、まずこれらの梱包補助材を取りはずしてください。コーナー調理キャビネットは、輸送用にキャビネットが連結されています。輸送用仮固定ネジをはずして分離してください。

シンク横食洗キャビネット
（スライドタイプ）

コーナー調理キャビネット

スペーサーは取りはず
さないでください。

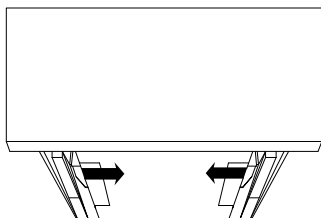
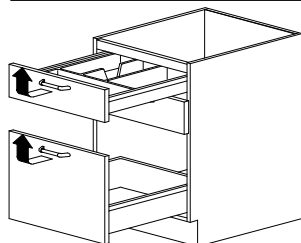
調理キャビネット　シンクキャビネット

側板段落ち仕様

【2．扉・引出の取りはずし】

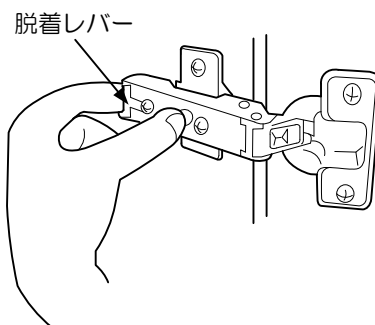
扉・引出は、図を参考に取りはずしてください。

●引出の取りはずし方

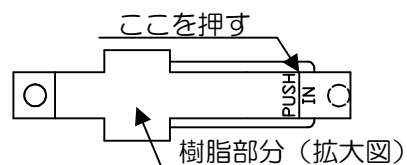
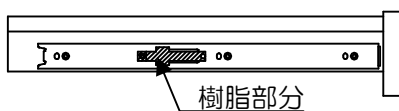
（A）ソフトクローズタイプの場合、引出をいっぱいに引き出した後、引出裏面の図の左右のレバーを内側に押しながら引出を手前に引き出してください。

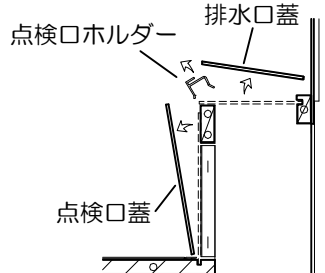
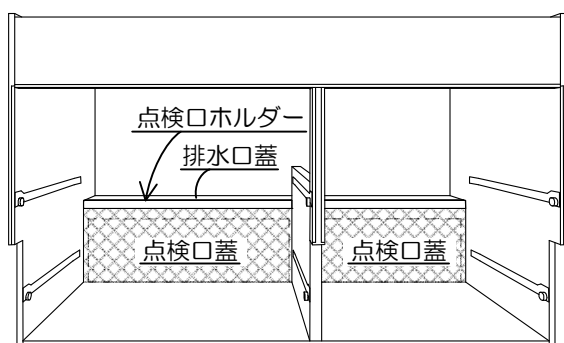
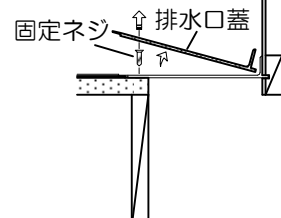
（B）それ以外のレールの場合、全開位置から持ち上げるように手前に引出して、取りはずしてください。

（A）ソフトクローズタイプの場合　（B）それ以外のレールの場合

●丁番の取りはずし方

中央の穴を押さえた状態で、脱着レバーを押しあげてください。

脱着レバー

※間口１５cmのスライド扉キャビネットのレールのはずし方は、各製品に付属の取扱い説明書を参照してください。

●インナーケース内引出しの取りはずし方

内引出し横についているレールの樹脂部分を軽く押して、内引出しを出してください。

【3．点検口蓋・排水蓋の取りはずし】

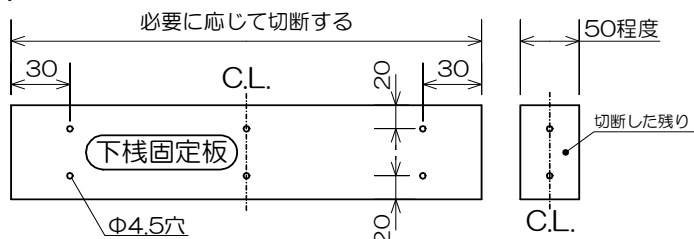
シンクキャビネットの排水蓋を取りはずしてください。
図を参考に、点検口ホルダー又は固定ネジを外せば、取りはずしが可能となります。
シンク下食洗キャビネットの場合、工場出荷状態では、排水蓋は固定ネジ一本で仮止めされています。

【シンク下食洗キャビ以外】

【シンク下食洗キャビ】

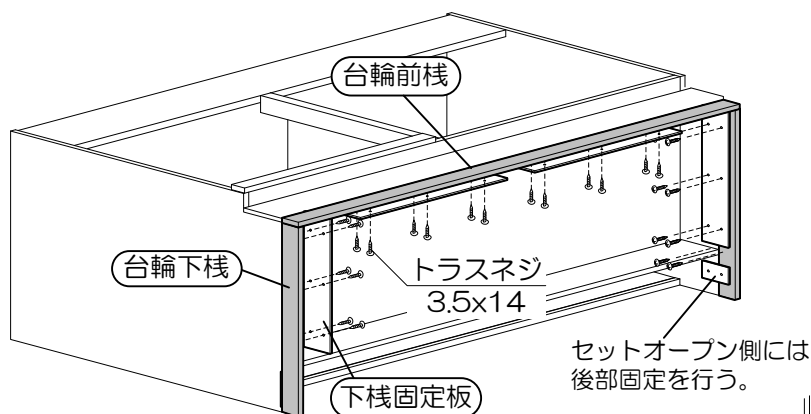
【4．台輪スペーサーの取付】（ワークトップ高さ90cmの場合）

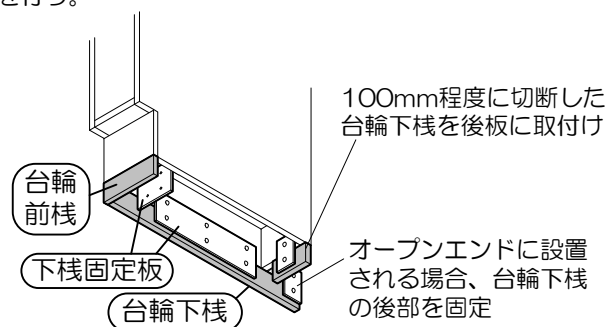
対応ワークトップ高さに応じて設置方法が異なります。

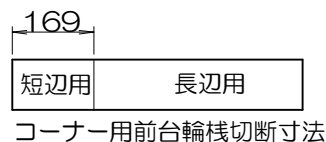
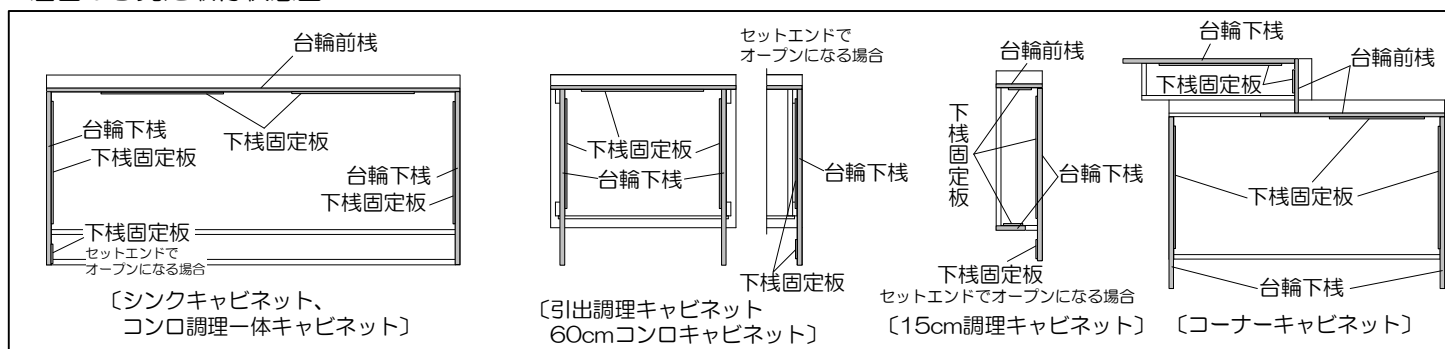
ワークトップ高さ	ベースキャビネット	台輪スペーサー
82cm	高さ82cm用	－
85cm	高さ85cm用	－
90cm		＋50mm

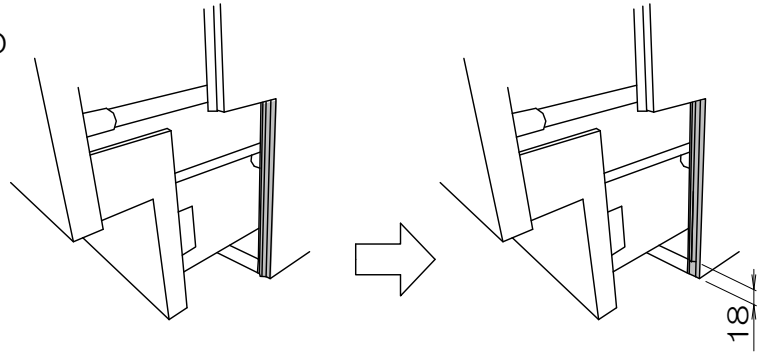
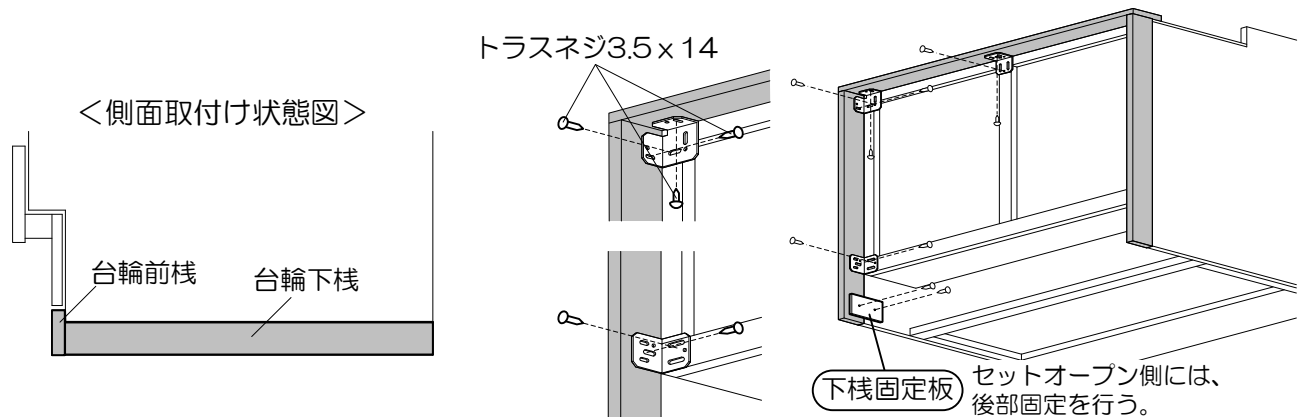
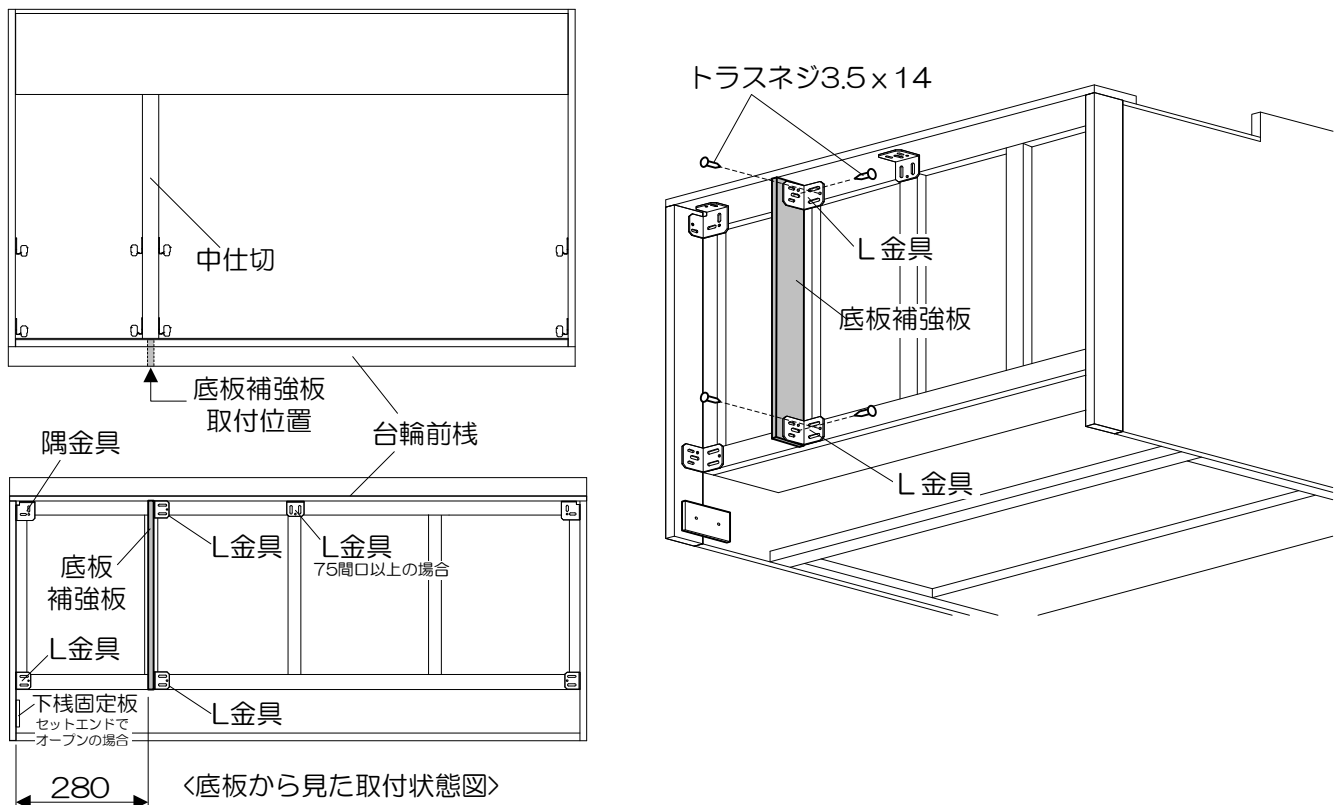
～扉タイプ・スライドタイプの場合～
（15cm調理キャビネット、コーナーキャビネットも含む）

①下桟固定板を側板内側に収まる長さに切断し、
取付穴（φ4）を加工してください。
また、オープン側になるキャビネットや
間口１５cm調理キャビネットの場合、
図のように下桟固定板を50mm程度残しておき、
同じように穴加工してください。

②キャビネット前台輪下部に台輪前桟をトラスネジ3.5ｘ14で固定してください。
③キャビネット側板下部に台輪下桟をトラスネジ3.5ｘ14で固定してください。
またオープンになる側には、後部の固定も行ってください。

台輪前桟
台輪下桟
トラスネジ
3.5x14
セットオープン側には
後部固定を行う。
下桟固定板

～１５cm調理キャビネットの場合～
１本の台輪下桟を100mm程度の長さに切断し、
後板用として固定してください。

100mm程度に切断した
台輪下桟を後板に取付け
台輪
前桟
下桟固定板
台輪下桟
オープンエンドに設置
される場合、台輪下桟
の後部を固定

～コーナーキャビネットの場合～
コーナーキャビネット用台輪スペーサーには、台輪前桟が１本
しか入っていません。下図寸法に切断して使用してください。

169
短辺用
長辺用
コーナー用前台輪桟切断寸法

〈底面から見た取付状態図〉

～足元スライドタイプの場合～

①図を参考に、キャビネット台輪部の左右のパッキンをキャビネット底面から18mmカットしてください。

②キャビネット底面に図を参考に金具で台輪前桟、台輪下桟をトラスネジ3.5ｘ14で固定してください。
オープン設置の場合は、下桟固定桟を切断して台輪下桟後部を固定してください。

③（シンクキャビネット間口135・120ｃｍ、またはコンロキャビネット間口105ｃｍの場合）
中仕切取付部の底板裏面に底板補強板をＬ金具とトラスネジ3.5ｘ14で取付けて下さい。

【5．台輪スペーサーの取付ービルトイン機器】（ワークトップ高さ90cmの場合）

（オーブンレンジ、電子コンベクションレンジへの取付）

●機器本体の設置説明書を参照してください。

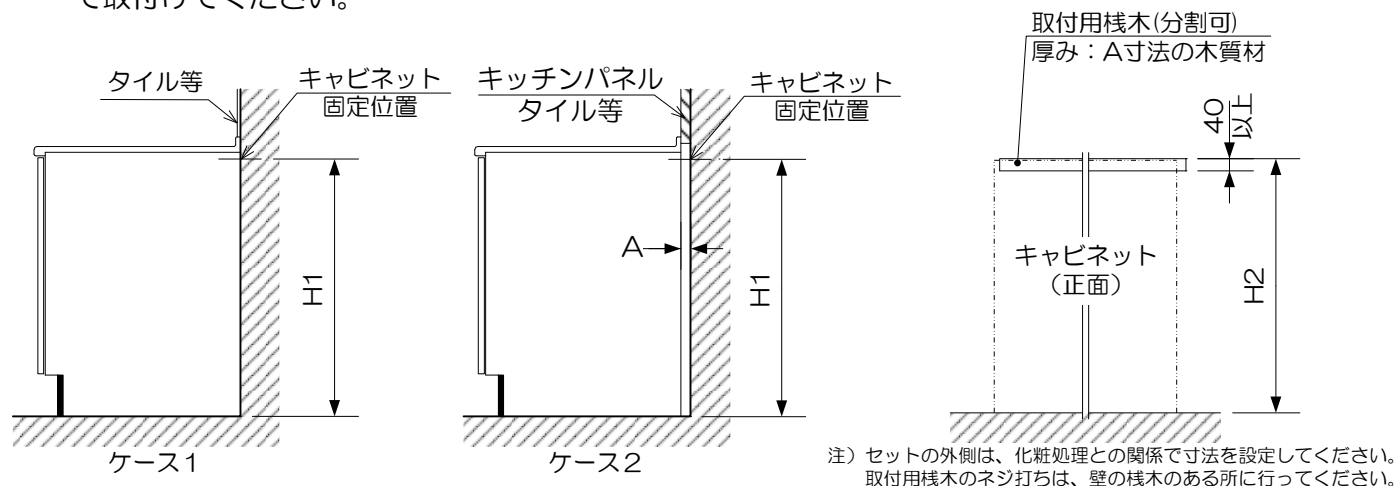
【6．キャビネットの仮置き・床面レベル出し】

キャビネット設置位置に、キャビネットを仮置きした状態で、下記項目の確認を行ってください。

●キャビネット連結位置の確認。

●シンクキャビネット壁面固定位置の確認および、取り付け下地の確認。

●キャビネットが壁面より離れて設置される場合（ケース２）は、
取付用桟木（下図のA寸法厚みの木質材：現場手配）を皿ネジ等（ネジ頭の出ないもの）
で取付けてください。

注）セットの外側は、化粧処理との関係で寸法を設定してください。
取付用桟木のネジ打ちは、壁の桟木のある所に行ってください。

単位mm

ワークトップ高さ	900	850	820
H1寸法	860	810	780
H2寸法	886	836	806

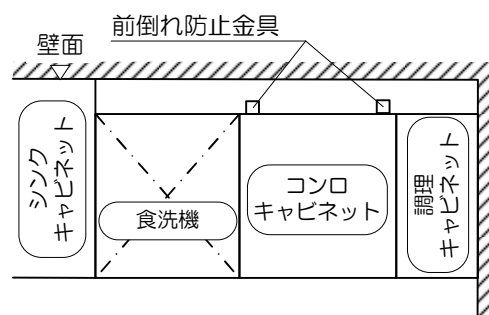
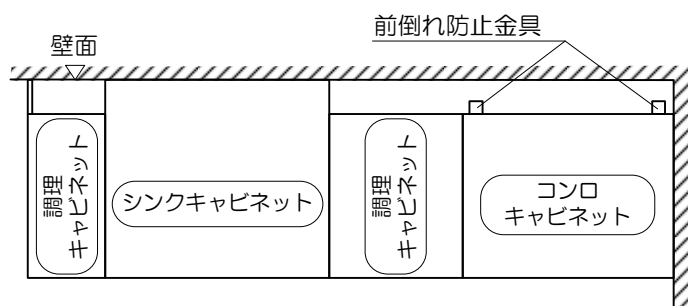
●床面のレベルが出ていない場合は、キャビネットとの間に入れる適当なスペーサーを用意してください。

【7．前倒れ防止金具の取付】

下表の「○」に該当する場合は、コンロキャビネットに前倒れ防止金具の取付が必要です。

<前倒れ防止金具取付有無一覧表>

タイプ	ワークトップ高さ		
	82cm	85cm	90cm
扉タイプ	×	×	×
スライドタイプ	○	○	○
足元スライドタイプ	×	×	○

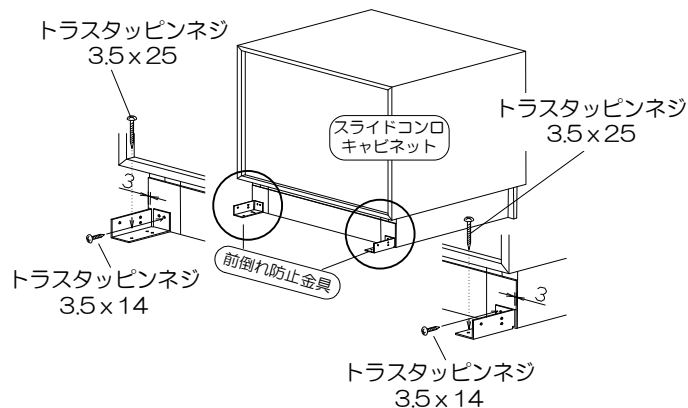
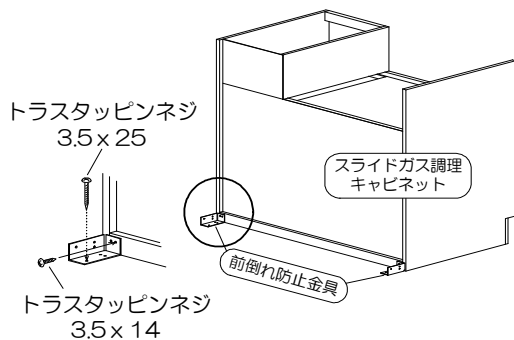
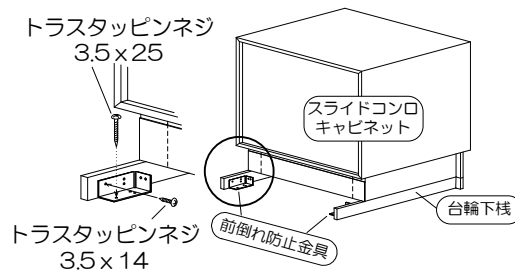
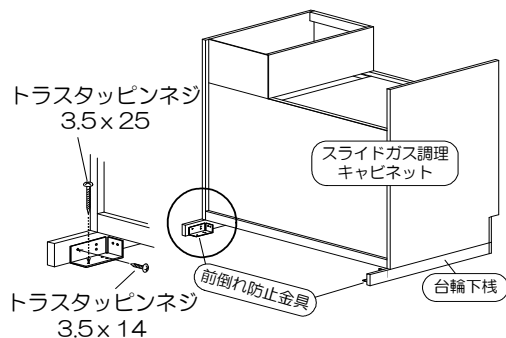
○…金具要
×…金具不要

●ワークトップ高さ85cm・82cmの場合、前倒れ防止金具の取付はキャビネット背面下部に取付けます。

●ワークトップ高さ90cmの場合、前倒れ防止金具は、台輪下桟への取付になります。

〈ワークトップ高さ85cm・82cmの場合〉

トラスタッピンネジ
3.5x25
スライドコンロ
キャビネット
トラスタッピンネジ
3.5x25
3
前倒れ防止金具
トラスタッピンネジ
3.5x14
3
トラスタッピンネジ
3.5x14

〈ワークトップ高さ90cmの場合〉

トラスタッピンネジ
3.5x25
スライドコンロ
キャビネット
台輪下桟
前倒れ防止金具
トラスタッピンネジ
3.5x14

【8. キャビネットへの穴加工】

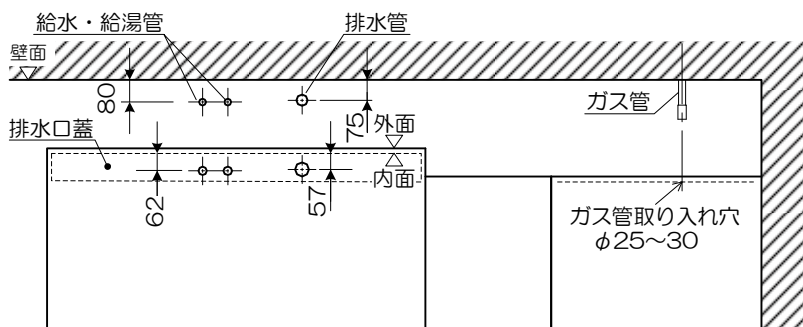
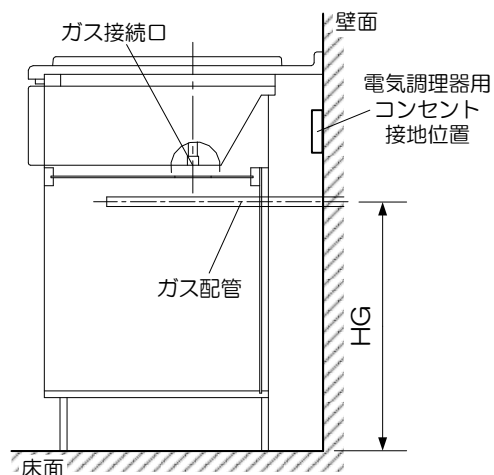
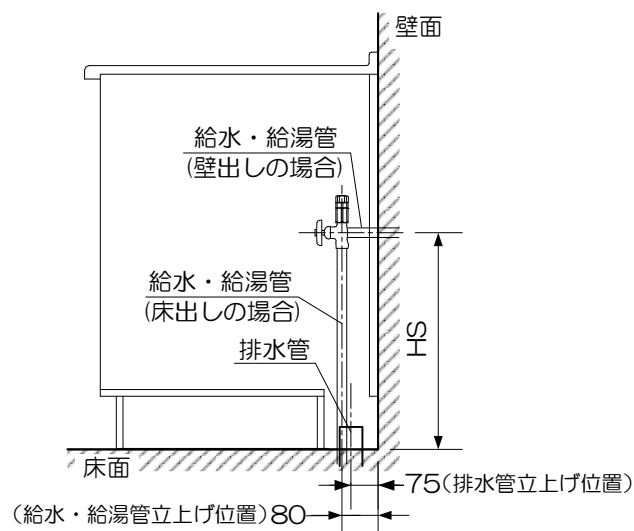
●給水・給湯管穴の加工
壁出しの場合は、シンクキャビネットの後板に、
床出しの場合は、シンクキャビネットの排水口蓋
にφ30程度の穴を加工してください。

●排水管穴の加工
シンクキャビネット排水口蓋にφ40程度の穴を
加工してください。

> 注）加工前に、
> 12ページ「5.排水部品の取付」
> 21ページ「10.給水・給湯管と水栓の接続」
> 「11.排水管の接続」
> も合わせてお読みください。

壁面
給水・給湯管
(壁出しの場合)
給水・給湯管
(床出しの場合)
排水管
HS
床面
75(排水管立上げ位置)
(給水・給湯管立上げ位置)80

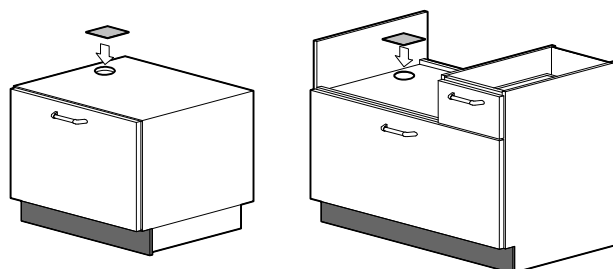
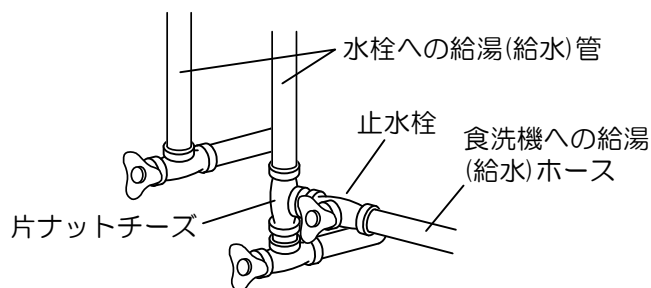
壁面
ガス接続口
電気調理器用
コンセント
接地位置
ガス配管
HG
床面

給水・給湯管
排水管
壁面
80
排水口蓋
75
外面
内面
62
57
ガス管
ガス管取り入れ穴
φ25〜30

注）配管位置は設置例です、水栓・シンク形状により変化します。
排水管穴はφ40程度、給水・給湯管穴はφ30程度になります。

単位mm

ワークトップ高さ	HS寸法		HG寸法
	Zシンク 人造大理石シンク	Zシンク 人大シンク以外	
900	515	530	600
850	465	480	550
820	435	450	520

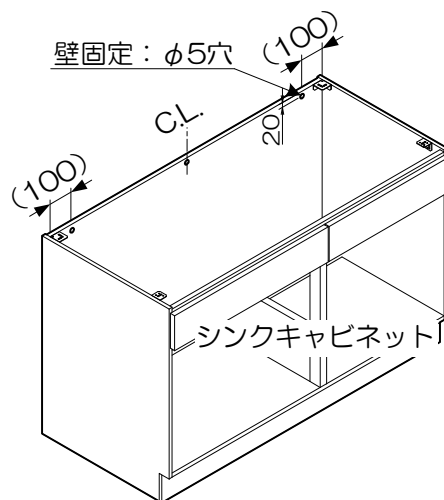
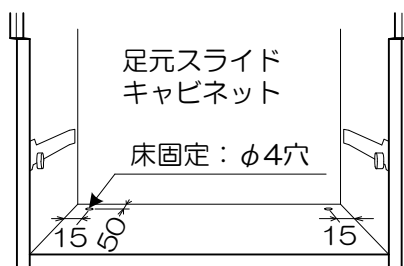
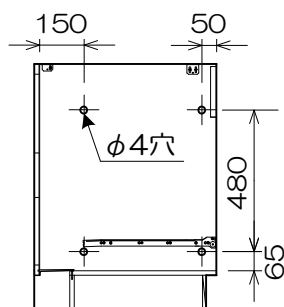
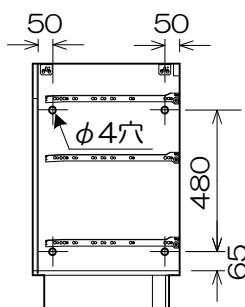
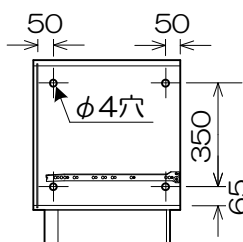
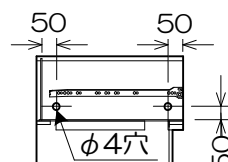
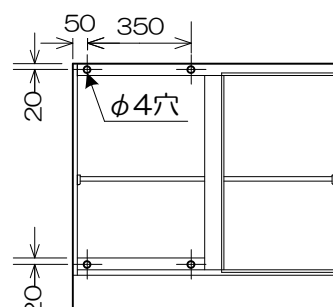
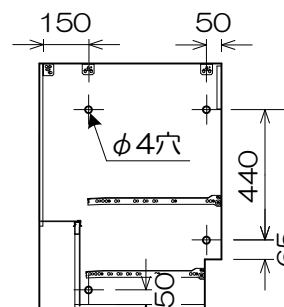
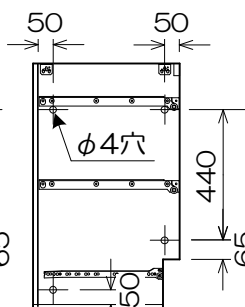
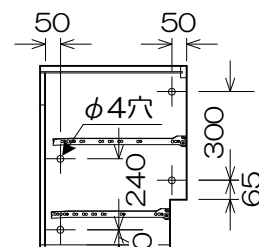
［食洗組込シンクキャビネットの場合］
シンク下食洗タイプの場合、給水・給湯管の食洗に接続する側の壁出し位置がチーズ分下がります。

チーズ分下げない場合は、水栓の接続作業が困難になります。

水栓への給湯(給水)管
止水栓
食洗機への給湯(給水)ホース
片ナットチーズ

●ガス管穴の加工（**ガスコンロの場合**）
床面よりHG寸法の位置でキャビネット内にガス管を引き込んでください。

●ガス管穴の加工（**電気調理機器の場合**）
ガスキャビネットの上面に配管穴が開いている場合は、付属の蓋で塞いでください。

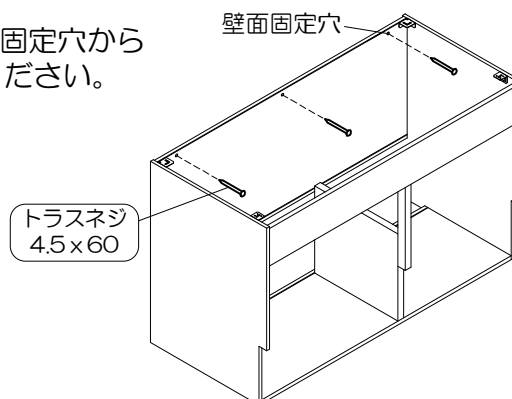
●壁面固定穴加工
シンクキャビネットの後板にφ5穴を３箇所あけてください。

●床固定穴加工
下記条件にすべて当てはまるキャビネットは、底板にφ4穴を2箇所あけてください。
・足元スライドタイプ
・ワークトップ高さ82cm・85cm（90cmは不要）
・シンクキャビネット以外のキャビネット

●連結穴加工
隣接するキャビネットで、連結作業が容易な方の側板にφ４穴をあけてください。
ただし連結するキャビネットの側板高さが異なる場合は、側板が低いほうに穴をあけてください。
またコーナーキャビネットの場合、長辺側と短辺側の連結用穴(φ4)を桟部分に加工してください。

注）表記寸法は、あくまで参考値です。
もしレールや丁番などの部品と干渉する場合は、上下に位置をずらして穴加工してください。

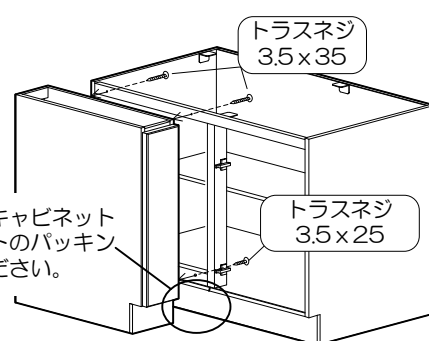
【9. キャビネットの連結・固定】

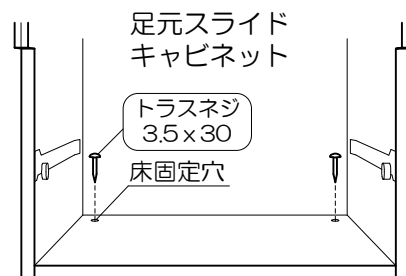
●キャビネットの設置
所定の位置にキャビネットを設置してください。

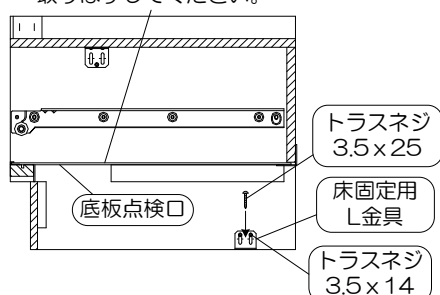
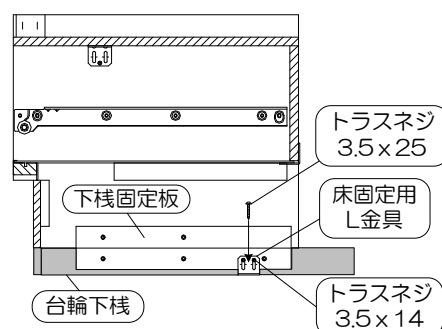
> 注）ビルトインレンジ仕様、電子コンベック仕様の場合は、キャビネットの設置と同時に所定の位置に器具本体を設置してください。

●壁面固定
シンクキャビネットの後板の壁面固定穴から
トラスネジ4.5ｘ60で固定してください。

●L型配列の場合は下記のネジを使用して、コーナーキャビネットの短辺側と長辺側を連結してください。

トラスネジ3.5x35：2本	シンクキャビネットに同梱の小物セット
トラスネジ3.5x25：1本	梱包時のキャビネットからはずした連結ネジ

トラスネジ
3.5ｘ35
トラスネジ
3.5ｘ25
コーナーキャビネットの短辺側キャビネットの側板前面を長辺側キャビネットのパッキンの端に合わせてから連結してください。

●キャビネット連結
連結穴より、トラスネジ3.5ｘ27で連結してください。

●床固定
・底板の床固定穴をあけたキャビネットがある場合は、
トラスネジ3.5x30で床固定を行ってください。

・前倒れ防止金具を取付けたキャビネットは、床固定を行ってください。
→取付ネジ・取付方法は、8，9ページの【7．前倒れ防止金具の取付】を参照。

・食洗下キャビネットの横にビルトイン機器を設置する場合、食洗下キャビネットの点検口をはずし、機器側側板後部に付属のL金具を取付けてネジで床固定を行ってください。

ワークトップ高さ90cmの場合

●コンロキャビネットに付属のガス配管蓋は、ガス配管工事終了後使用しますのでわかる場所に保管しておいてください。

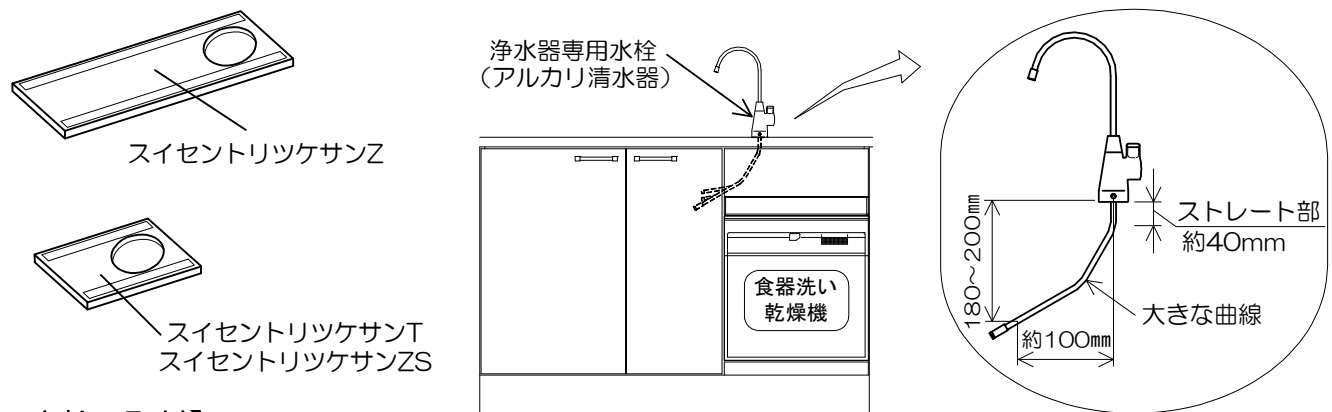
5．水栓の取付

【1．水栓穴の加工】

水栓およびオプション品（アルカリ清水器、浄水器）を取付ける位置は、下図のようになります。
必要に応じてワークトップの所定の位置に穴加工を行ってください。
（図中●印：穴加工は不要　○印：現場での穴加工が必要）

	Zシンク	人大シンクT	ZSシンク	Fシンク
シンク横食洗の場合 標準（食洗無し）の場合	水栓 アルカリ清水器 浄水器専用水栓 （穴径φ36～40） 水栓とアルカリ清水器・浄水器専用水栓は入替可能です。	水栓 アルカリ清水器 浄水器専用水栓 （穴径φ36～40） アルカリ清水器・浄水器専用水栓は左右どちらでも設置可能です。	水栓 アルカリ清水器 浄水器専用水栓 （穴径φ36～40） 水栓とアルカリ清水器・浄水器専用水栓は入替可能です。	水栓 アルカリ清水器 浄水器専用水栓 （穴径φ36～40） アルカリ清水器・浄水器専用水栓は左右どちらでも設置可能です。
シンク下食洗の場合	水栓 アルカリ清水器 浄水器専用水栓 （穴径φ36～40） 食器洗い乾燥機 図は食洗機が右側の場合です。 左側の場合は左右対称になります。	水栓 アルカリ清水器 浄水器専用水栓 （穴径φ36～40） 食器洗い乾燥機 図は食洗機が右側の場合です。 左側の場合は左右対称になります。	水栓 アルカリ清水器 浄水器専用水栓 （穴径φ36～40） 図は食洗機が右側の場合です。 左側の場合は左右対称になります。	アルカリ清水器 浄水器専用水栓 （穴径φ36～40） 水栓 食器洗い乾燥機 図は食洗機が右側の場合です。 左側の場合は左右対称になります。

	ユーティリティシンク（水栓穴数1個タイプの場合）	ユーティリティシンク（水栓穴数2個タイプの場合）	Yシンク、Sシンク
シンク横食洗の場合 標準（食洗無し）の場合	アルカリ清水器 浄水器専用水栓 （穴径φ36～40） 水栓 アルカリ清水器・浄水器専用水栓は左右どちらでも設置可能です。	アルカリ清水器 浄水器専用水栓 （穴径φ36～40） 水栓 セットエンド側 水栓とアルカリ清水器・浄水器専用水栓は入替可能です。	アルカリ清水器 浄水器専用水栓 （穴径φ36～40） 水栓 アルカリ清水器・浄水器専用水栓は左右どちらでも設置可能です。
シンク下食洗の場合	アルカリ清水器 浄水器専用水栓 （穴径φ36～40） 水栓 食器洗い乾燥機 図は食洗機が右側の場合です。 左側の場合は左右対称になります。	水栓 アルカリ清水器 浄水器専用水栓 （穴径φ36～40） 食器洗い乾燥機 図は食洗機が右側の場合です。 左側の場合は左右対称になります。	アルカリ清水器 浄水器専用水栓 （穴径φ36～40） 水栓 食器洗い乾燥機 図は食洗機が右側の場合です。 左側の場合は左右対称になります。

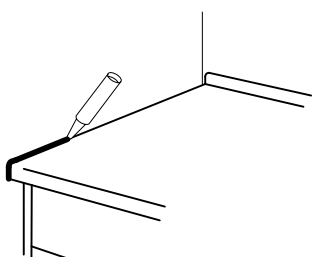
注）1．Zシンク/ZSシンク/人大シンクで水栓穴を現地加工する場合、別途、水栓下地「スイセントリツケサン」を取り付ける必要があります。取付方法は水栓下地に付属の説明書を参照してください。Zシンクには「スイセントリツケサンZ」、ＺＳシンクには「スイセントリツケサンＺＳ」、人大シンクTには「スイセントリツケサンT」を取り付けてください。
2．Zシンク/ZSシンク/人大シンクでシンク下食洗の場合、アルカリ清水器・浄水器専用水栓と食器洗い乾燥機が干渉して設置しにくい場合があります。その場合は水栓の取付をスムーズに行うため、取付前に水栓の銅管を曲げてください。
（※銅管を局部的に曲げないでください。銅管が破損する恐れがあります。）

銅管を食器洗い乾燥機と反対側に曲げる

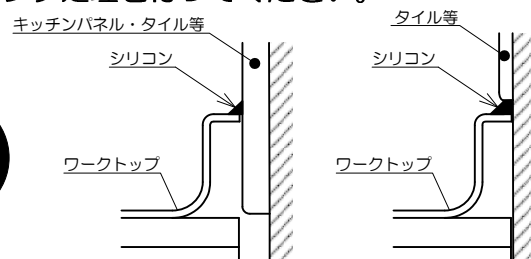
【2．水栓の取付】

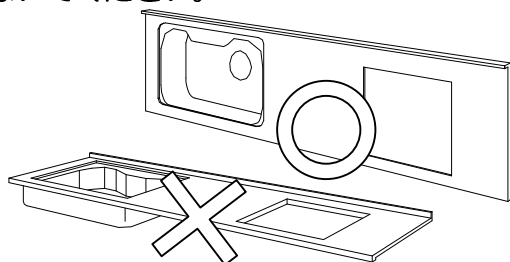
水栓およびオプション水栓（アルカリ清水器・浄水器）は、それぞれに付属の設置説明書にしたがって取付けてください。

6．ワークトップの設置

作業上の注意事項

人造大理石製ワークトップの両端が壁の場合、シリコンによる目地を3～4mmとってください。

温度変化による伸縮によりワークトップのそりの原因になる恐れがあります。

壁等に接するワークトップ部分は、シリコンでコーキング処理を行ってください。

水が進入した場合、腐食や、カビの発生の原因になる恐れがあります。

ワークトップを移動する場合は、水平にした状態で運ばないでください。

横にして運んだ場合、ワークトップに損傷を与える恐れがあります。

取付中、ワークトップおよびシンクの中などに乗らないでください。

製品が変形・破損する恐れがあります。

シンナー、アセトン等の強力な溶剤で洗浄しないでください。

製品が変形・変色する恐れがあります。

ワークトップ関連の作業を行っていない場合、ダンボール等で養生を行ってください。

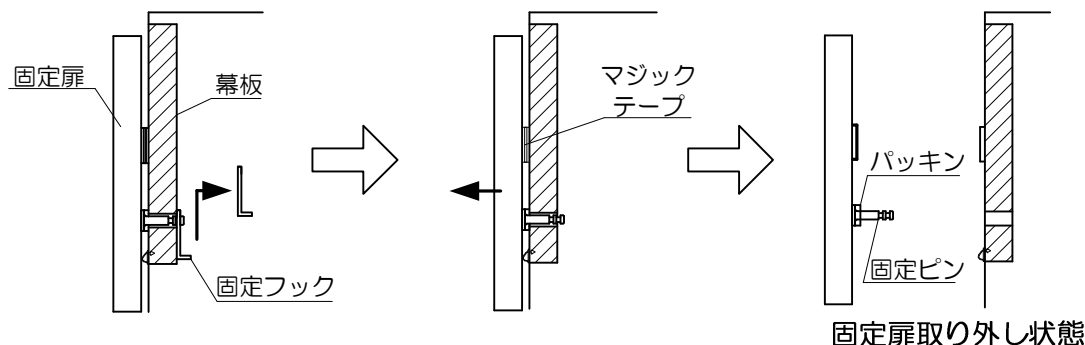
壁塗り、タイル張り、配管工事などに際して、モルタル、鉄くずなどでワークトップおよびシンクに傷がつく恐れがあります。

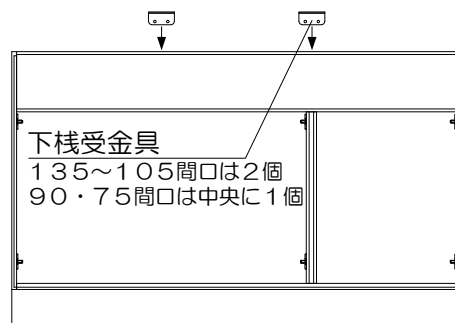
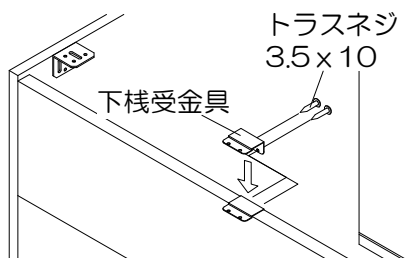
【1．ワークトップの取付前の準備】

①固定扉の取外し方（シンクキャビネット：スライドタイプ・シンク下食洗タイプの場合）

（1）シンクキャビネットの幕板裏面に取付けてある固定フックを上にスライドさせて、固定フックを取り外してください。

（2）マジックテープで固定してある固定扉を手前に引っぱり、固定扉を外してください。

注）固定ピンに取付けてあるパッキンは落とさないよう注意してください。

②下桟受金具の取付け

シンクキャビネットの図の位置に下桟受金具を取付けてください。

③Ｌ金具の前後調整

（ステンレス製ワークトップ、Ｉ型195cm～165cm・Ｌ型シンク側１９５cmの場合のみ）

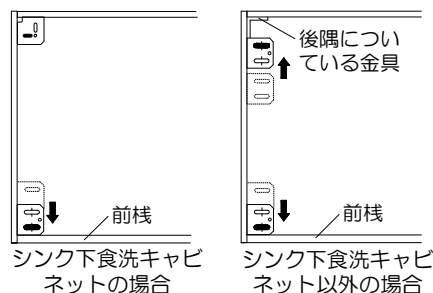
シンクキャビネットのエンド側のＬ金具を移動してください。

・前側のＬ金具：前桟にあたるまで

・後側のＬ金具：後隅についている金具にあたるまで

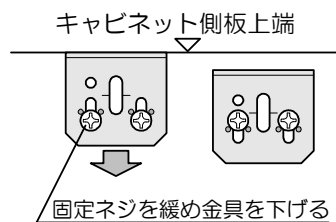
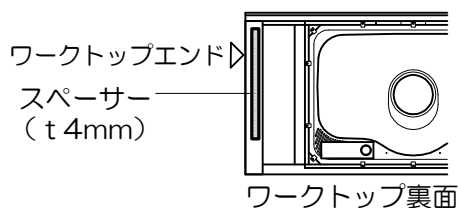
（後側のＬ金具の移動はシンク下食洗キャビネット以外の場合のみ）

移動したＬ金具よりネジでワークトップを固定してください。

注）前側の金具からの固定は、手前の長穴より行ってください。

④Ｌ金具の上下調整

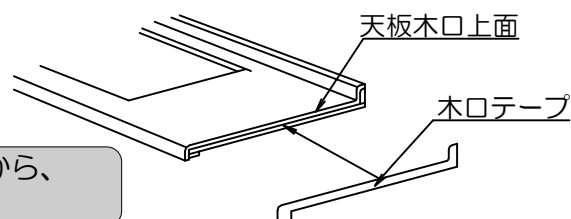
（人造大理石製ワークトップで、天板裏面のエンド側にスペーサーが貼ってある場合）

図のようにワークトップ裏面のエンド側に厚み4mmのスペーサーが貼ってある場合は、キャビネットのエンド側のＬ金具の取付ネジを緩め、図のようにＬ金具を下げてください。

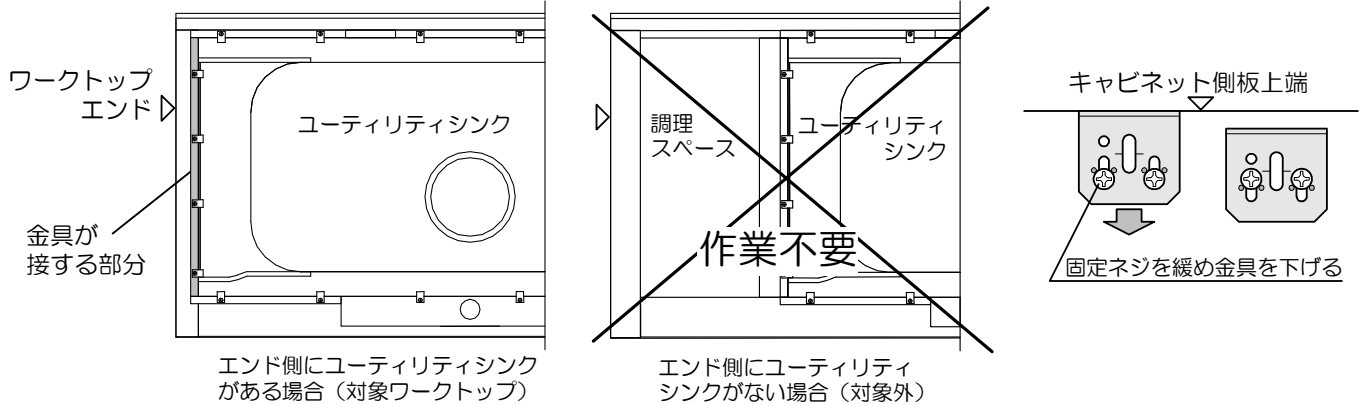
調整終了後、緩めたネジを締めなおしてください。

⑤**（人造大理石製ワークトップで、加熱機器側の天板木口がオープンになる場合）**

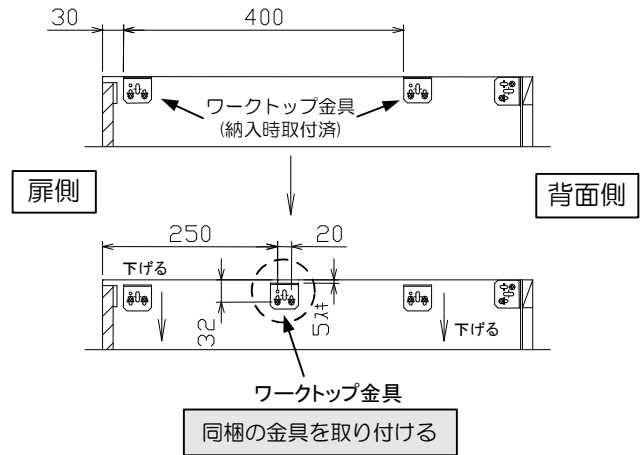
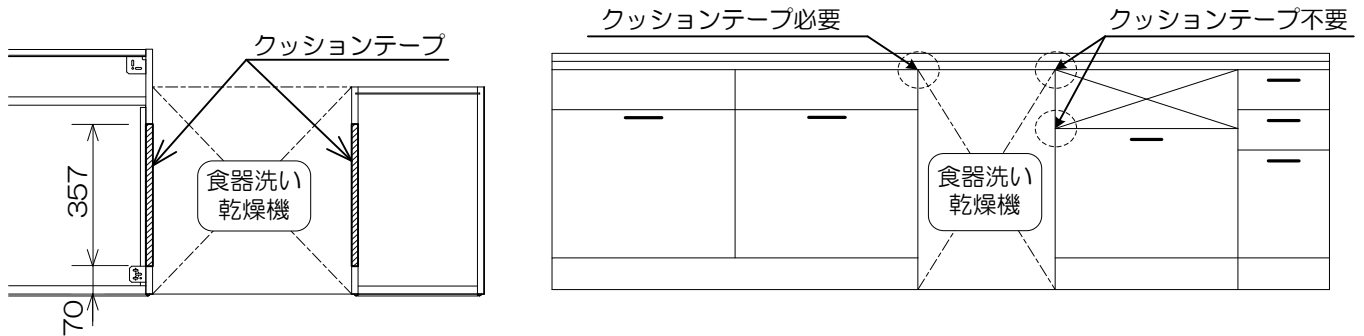
天板木口の汚れをアルコールで拭き取ってから、天板上面を基準にして、木口テープを貼ってください。

下面にはみ出た木口テープは、カッターやサンドペーパー等で除去してください。

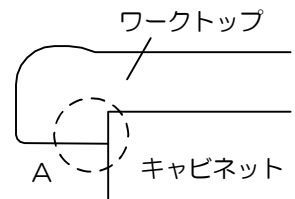
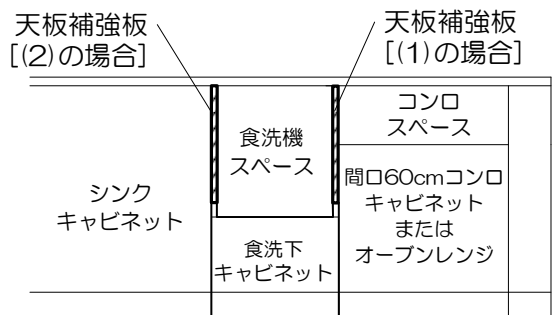
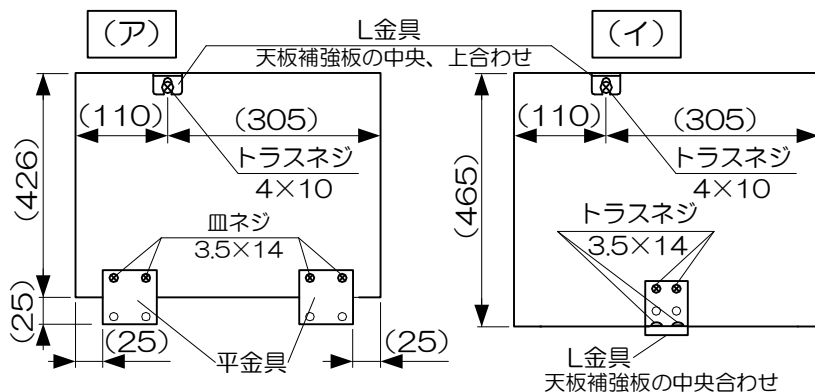
注）冬場等で付きにくい場合は、貼り付け後、木口テープの上から、アイロンまたはドライヤー等で温めてください。

（ユーティリティシンク人造大理石製ワークトップで、エンド側にシンクがある場合）
図のようにワークトップ裏面のエンド側に厚い裏貼材が貼ってある場合は、キャビネットのエンド側のＬ金具の取付ネジを緩め、図のようにＬ金具を下げてください。
調整終了後、緩めたネジを締めなおしてください。

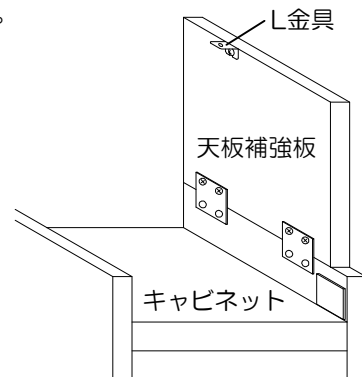
エンド側にユーティリティシンクがある場合（対象ワークトップ）

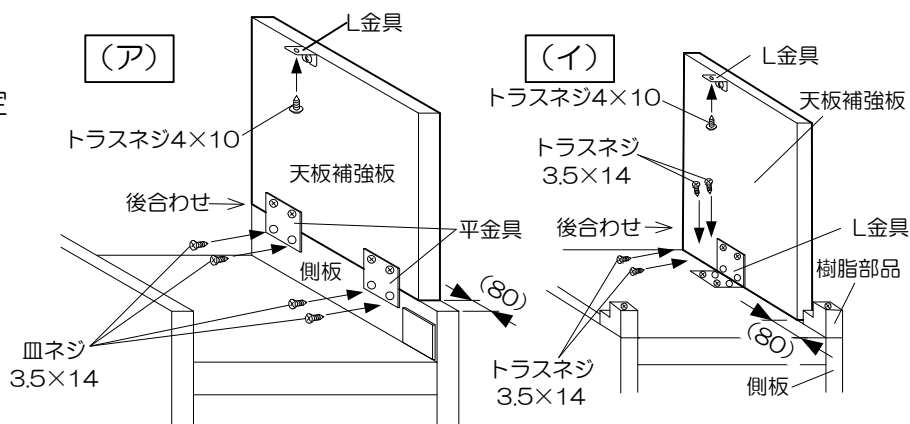
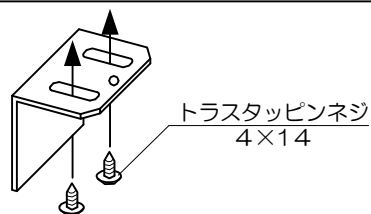
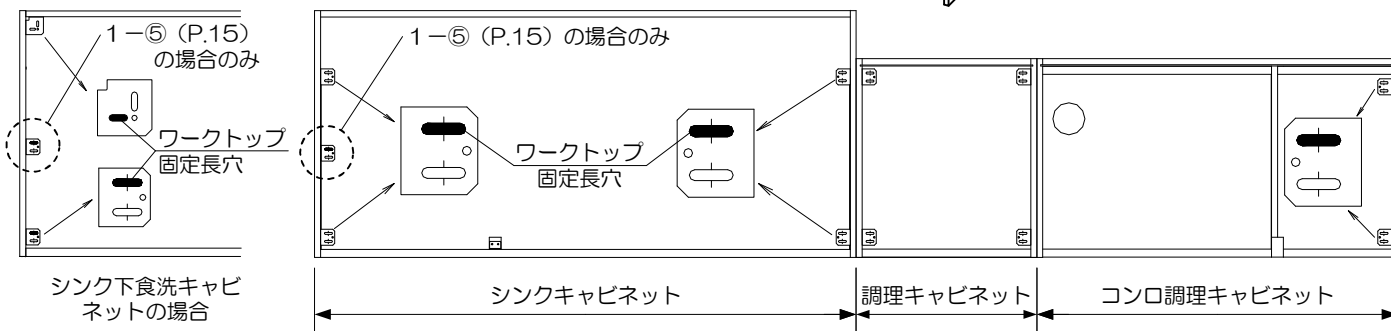
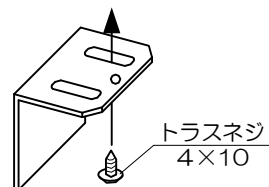
エンド側にユーティリティシンクがない場合（対象外）

⑤Ｌ金具の取付
（ユーティリティシンク人造大理石製ワークトップで、エンド側にシンクがある場合）

シンクキャビネットエンド側の側板に同梱のワークトップ金具を右図の位置に追加してください。

⑥クッションテープの貼付（**人造大理石製ワークトップの場合のみ**）
ワークトップ裏貼材とキャビネットの間のスキ間をふさぐため、食器洗い乾燥機に隣接するキャビネットの側板上面所定の位置にクッションテープを貼付けてください。
（隣接するキャビネットがコンロキャビネットの場合は不要です。）

【２．ワークトップの取付・Ｉ型配列の場合】

①ワークトップの仮置き
ワークトップをキャビネットにのせてください。

> 注）キャビネット前部とワークトップ前下がり部との間（A部）にスキがないようにワークトップを奥へ押し付けてください。

②天板補強板の取付（以下の場合のみ）
(1)コンロと食洗機が横並びで設置されて、かつ、レンジ対応又は間口60cmコンロキャビネットを設置する場合
(2)ユーティリティシンク天板でシンクキャビネットが側板段落ち仕様（P.5）の場合

（1）天板補強板に平金具とL金具をネジで取付けてください。

注）左図の取付位置はキャビネットの右側に取付ける場合です。左側に取付ける場合は左右対称になります。

L金具
天板補強板
キャビネット

（2）食洗下キャビネットの側板に天板補強板を取付けてください。
食洗下キャビネットは2タイプあります。
(ア)タイプ：側板が伸びているタイプ
(イ)タイプ：側板が伸びていないタイプ（樹脂部品取付タイプ）

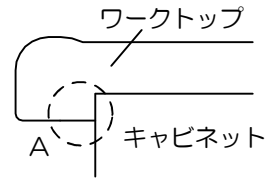
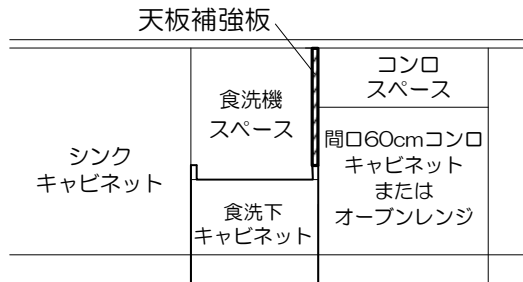
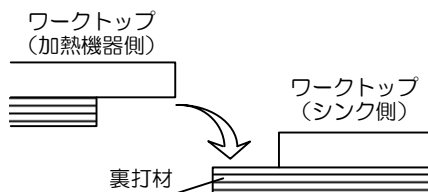
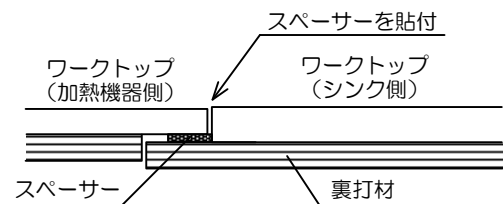
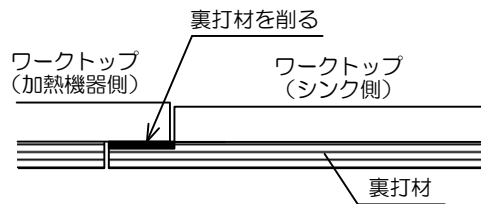
（3）上側のL金具よりワークトップにネジを打って、天板補強板を固定してください。

③ワークトップの固定
キャビネットのL金具よりネジでワークトップを固定してください。
固定位置は、ワークトップの両サイドと、中央付近です。
（L金具には長穴と丸穴があいています。間口調整ができるように長穴の中央付近からネジ打ちしてください。）

注）ユーティリティシンク人造大理石製ワークトップで、エンド側にシンクがある場合[1－⑤（P.15）]は同梱のトラスタッピンネジ4×14（6本）でシンク側L金具とワークトップを固定してください。

【3．ワークトップの取付・L型配列の場合】

●人造大理石ワークトップの場合に必要な工具

工業用アルコール	きれいな白布
サンドペーパー	
スコッチブライト	オービタルサンダー

①ワークトップの仮置き
ワークトップ（人造大理石製の場合はシンク側）をキャビネットにのせてください。

注）キャビネット前部とワークトップ前下がり部との間（A部）にスキがないようにワークトップを奥へ押し付けてください。

②天板補強板の取付
（コンロと食洗機が横並びで設置されて、かつ、レンジ対応又は間口60cmコンロキャビネットを設置する場合のみ）
１６ページ「**②天板補強板の取付**」を参照して取付けしてください。

③加熱機器側ワークトップの仮置き**（人造大理石製の場合のみ）**
シンク側ワークトップの裏打材の上にのせるようにキャビネットの上に設置してください。

ワークトップの段違いが大きい場合は、段差を小さく調整してから接着作業を行ってください。
・加熱機器側のワークトップが低い場合：同梱のスペーサーを貼付
・加熱機器側のワークトップが高い場合：裏打材を削る

＜加熱機器側のワークトップが低い場合＞　＜加熱機器側のワークトップが高い場合＞

④ワークトップの固定

（ステンレス製ワークトップの場合）
キャビネットのＬ金具よりネジでワークトップを固定してください。
固定位置は、ワークトップの両端とシンクキャビネットのコーナー側、コーナーキャビネット中央部のL金具になります。固定の際は、まずワークトップの両端から固定し、コーナーキャビネットからの固定を最後に行います。

注）ワークトップのコーナー奥部（※）がキャビネットより浮いている場合は、コーナーキャビネット奥部のＬ金具よりネジで引きつけてください。

（人造大理石製ワークトップの場合）
シンクキャビネットとコーナー調理キャビネットのＬ金具より、ネジでワークトップ（シンク側）を固定してください。固定位置は、ワークトップ（シンク側）の両サイドと中央付近です。
（Ｌ金具には長穴と丸穴があいています。間口調整ができるように長穴の中央付近からネジ打ちしてください。）

1－⑤（P.15）の場合のみ

ワークトップ固定長穴

シンク下食洗キャビネットの場合

1－⑤（P.15）の場合のみ

ワークトップ固定長穴

ステンレス製ワークトップでコーナー部にワークトップの浮きがある場合のみネジ止め

人造大理石製ワークトップの場合のみネジ止め

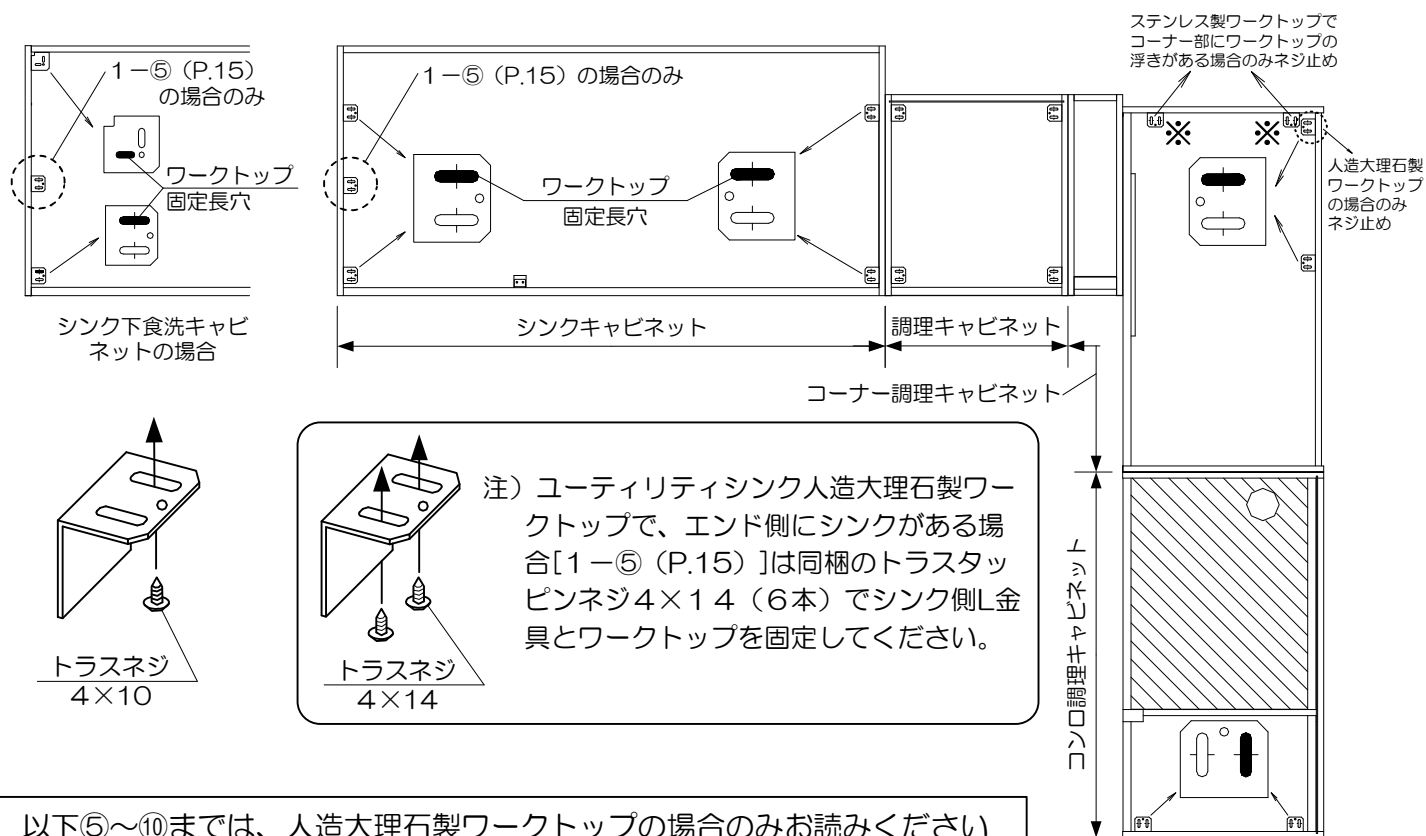
シンクキャビネット　調理キャビネット

コーナー調理キャビネット

コンロ調理キャビネット

トラスネジ 4×10

トラスネジ 4×14

注）ユーティリティシンク人造大理石製ワークトップで、エンド側にシンクがある場合[1－⑤（P.15）]は同梱のトラスタッピンネジ４×１４（６本）でシンク側L金具とワークトップを固定してください。

以下⑤～⑩までは、人造大理石製ワークトップの場合のみお読みください

⑤ワークトップの清掃

ワークトップの接合面及びその周辺（幅約５ｃｍ）をきれいな白い布を使用して、工業用アルコールでふいてください。

⑥クランプ用ブロックの貼付

クランプ用のブロックを所定の位置に貼付けてください。

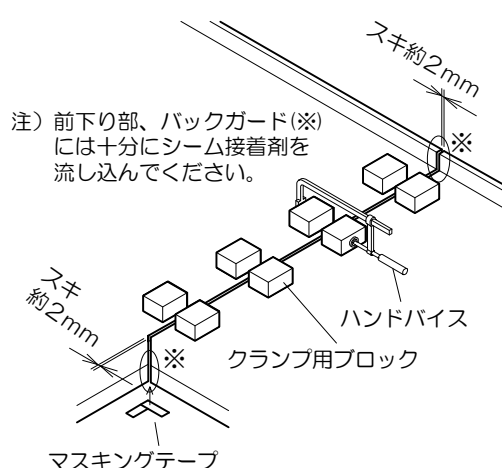
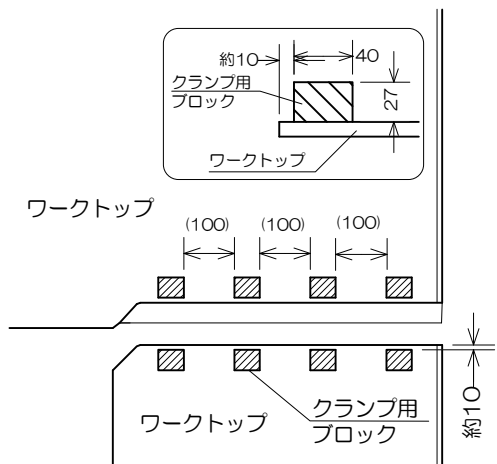
注）接着剤は、木工用瞬間接着剤（アイカアイボン・アロンアルファ）または、ホットメルト接着剤を使用してください。

⑦マスキング作業

接合部のスキ間が約２mmになるようにワークトップを設置し、前下がり部下面をマスキングテープでシールしてください。

⑧接着作業

●接着作業はワークトップに付属のシーム接着剤の取扱説明書にしたがって、作業してください。
●接着剤注入後ハンドバイスでクランプ用ブロックを締めつけてください。

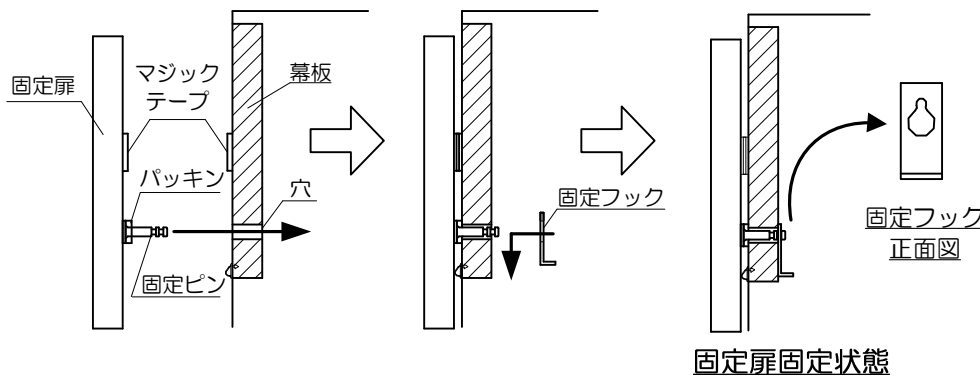
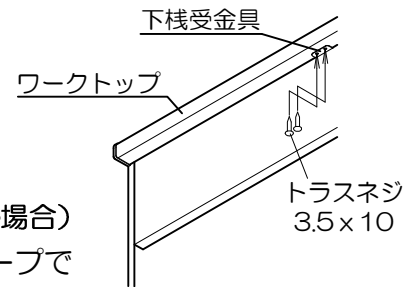
注）１．硬化するまでバイスははずさないでください。
　　２．接着部分に爪痕がつかない程度に硬化すれば、次工程に進んでください。
　　　　但し、ワークトップを加熱した場合は、常温まで冷やしてから作業を行ってください。
　　３．低温時に作業する際は、接着剤を流しこむ前に接合部付近を30℃程度まで暖めておくと早く硬化します。

⑨ワークトップ（加熱機器側）の固定
コンロ調理キャビネットのＬ金具よりネジでワークトップ（加熱機器側）を固定してください。

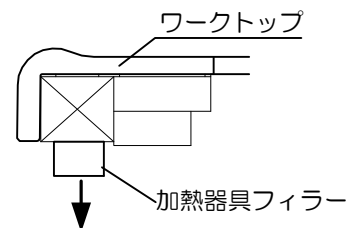
⑩接合部の仕上げ作業
接着剤が硬化した後、シーム接着剤の取扱説明書にしたがって、仕上げ作業を行ってください。

【4．ワークトップの取付後の作業】

下桟受金具
ワークトップ
トラスネジ
3.5×10

①下桟受金具よりの固定
下桟受金具よりワークトップ前下がり部にネジで固定してください。

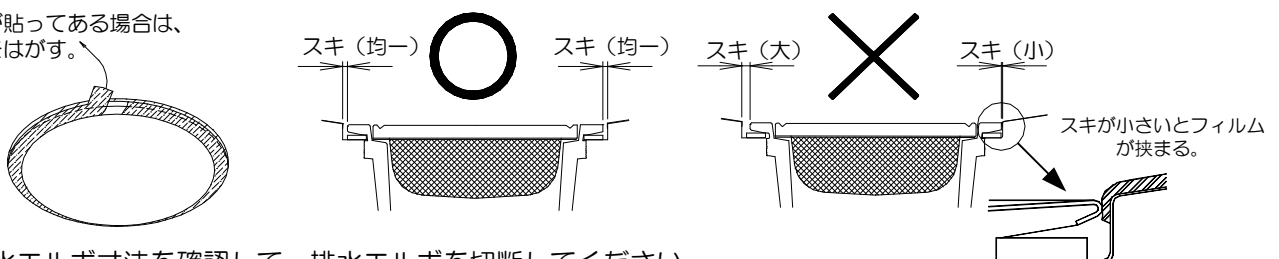
②固定扉の取付（シンクキャビネット：スライドタイプ・シンク下食洗タイプの場合）
（1）固定扉の固定ピンをシンクキャビネット幕板の穴に通し、マジックテープで固定してください。（マジックテープへのシリコン塗布は不要です。）
（2）固定フックを固定ピンに通し、下にスライドさせて固定扉を固定してください。
（確実に固定できた時は、カチッと音がします。）

注）固定フックはダルマ穴になっていて、固定ピンが抜けないようになっています。

③コーキング
ワークトップ取付後、ワークトップ立ち上がりと壁面とのスキ、ワークトップと横壁とのスキ、また　オープン設置の場合は、ワークトップとキャビネットのスキをシリコンでシールしてください。

④加熱器具フィラーの取りはずし
（間口45cm電気加熱機器をセットする場合のみ）
加熱器具設置部のワークトップ前下がり部の加熱器具フィラーを取りはずしてください。

7．排水部品の取付

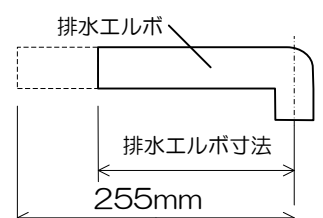
【1．設置準備】

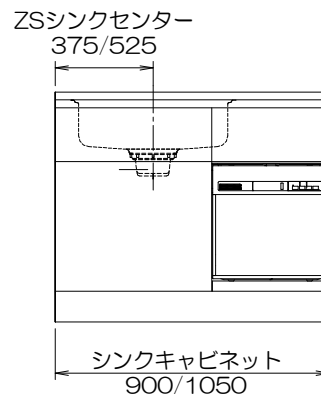
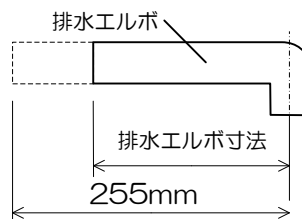
①シンクの排水器具取付部のゴミ、ほこり等をふき取ってください。
（排水器具取付部にフィルムが貼ってある場合は、フィルムをはがして取付部のゴミ、ほこり等をふき取ってください。）

注）1．排水器具取付部にフィルムの切れ端しや異物が残っていると水漏れの恐れがあります。
2．排水器具取付部のスキがなるべく均一になるように取付けてください。下図の×のようにスキが均一でないと、スキが小さい箇所でフィルムが挟まり、取りにくくなります。

②下表で排水エルボ寸法を確認して、排水エルボを切断してください。
<SUSシンク用Ｓトラップ、人大シンクの場合>　※シンク種類はP.12参照

シンクキャビネット	シンク種類				
	Zシンク	Yシンク Sシンク	Fシンク	人大 シンクT	ユーティリティーシンク
シンク下食洗タイプ	155	225	80	180	205
シンク下食洗タイプ以外	75	200	80	85	180

排水エルボ
排水エルボ寸法
255mm

※ZSシンクの場合は次項参照のこと。

ZSシンクの場合　　　※シンク種類はP.12参照

シンクキャビネット	ZSシンクセンター	
	525	375
シンク下食洗タイプ105	105	125
シンク下食洗タイプ90		135
シンク下食洗タイプ以外	125	

<SUSシンク用N41/N40トラップの場合>
　直管配管の立ち上げ位置からトラップまでの寸法を測定し、排水エルボーをカットしてください。

【2．排水部品の取付】

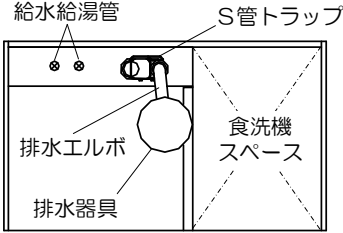
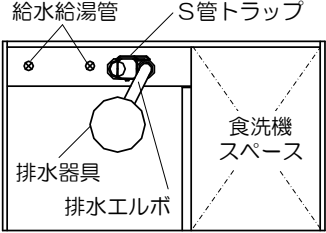
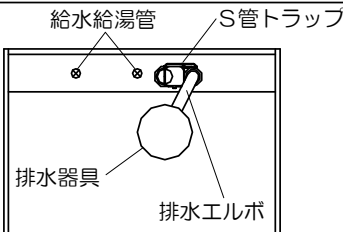
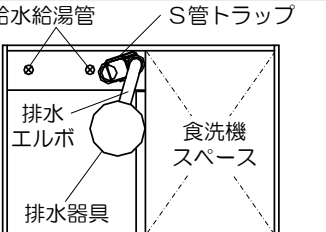
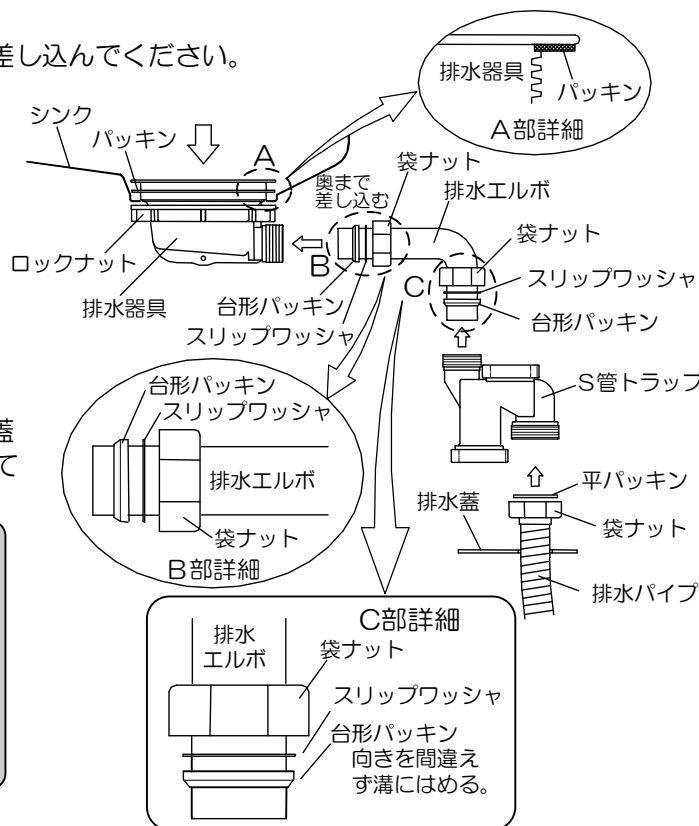
SUSシンク用Sトラップの場合

①排水器具にパッキンを取付け、シンクの中から排水口に差し込んでください。

注）排水器具のパッキン溝部にパッキンがきちんと収まっているか確認してください。（A部詳細）

②排水器具をロックナットで仮固定してください。
③排水エルボとS管トラップを仮接続してください。
④排水エルボに袋ナット、スリップワッシャ、台形パッキンを差し込んでください。

注）差し込む順序や台形パッキンの向きが間違ってないか確認してください。（B・C部詳細）

⑤排水器具に排水エルボを接続して、S管トラップが排水蓋の穴の位置にくるように排水器具、S管トラップを回して調整してください。（下図参照）

注）排水エルボは排水器具接続口の奥まで十分に差し込み、調整後は袋ナットをしっかりと締め付けてください。
また、Sトラップへの差込み量が浅くならないように注意してください。

<排水エルボ・S管トラップの向き一覧>

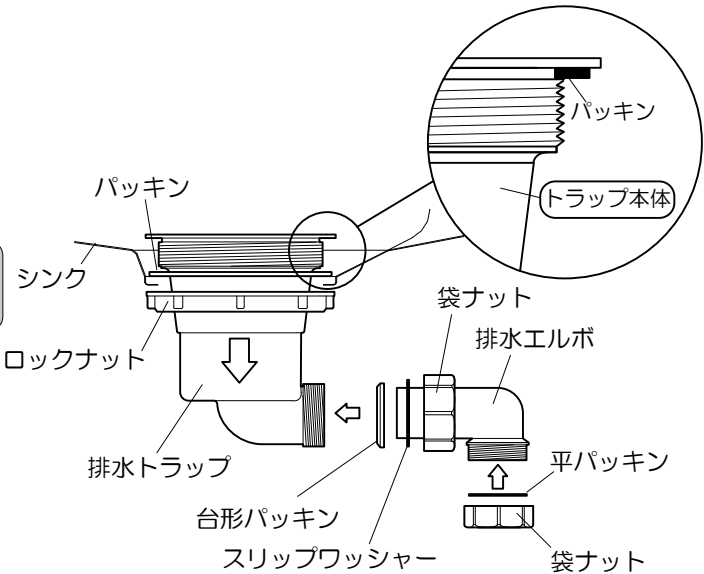
ＺＳシンクの場合　　※シンク種類はP.12参照

	ＺＳシンク シンクセンター525	ＺＳシンク シンクセンター３７５
シンク下 食洗タイプ 105間口	給水給湯管 S管トラップ 排水エルボ 食洗機 スペース 排水器具	給水給湯管 S管トラップ 食洗機 スペース 排水器具 排水エルボ
シンク下 食洗タイプ 90間口		給水給湯管 S管トラップ 排水 エルボ 食洗機 スペース 排水器具
シンク下 食洗タイプ 以外	給水給湯管 S管トラップ 排水器具 排水エルボ	

SUSシンク用N41/40トラップの場合

①排水トラップにパッキンを取付け、シンクの中から排水口に差し込んでください。

注）トラップ本体のパッキン溝部にパッキンがきちんと収まっているか確認してください。

②排水トラップの排水口が真後ろを向くようにロックナットを締め付けてください。
ロックナット締付工具は別途手配してください。

③排水エルボに袋ナット・台形パッキンを装着してトラップ本体に袋ナットで取付てください。

注）エルボはトラップ接続口の奥まで十分に差し込み、袋ナットをしっかりと締め付けてください。

④排水パイプを平パッキンを介して排水エルボに差し込み、袋ナットでしっかり締め付けてください。

⑤ロックナットを締め付けてください。

⑥排水パイプを平パッキンを介して排水エルボに差し込み、袋ナットでしっかり締め付けてください。

人大シンクの場合

①排水栓にスリップワッシャおよびパッキンを取付け、シンクの中から排水口に差し込んでください。

注）差し込む順序が間違っていないか確認してください。

②下からパッキンをはさみ、排水器具を仮固定してください。

③排水エルボに袋ナット・スリップワッシャ・台形パッキンを差し込んでください。

注）差し込む順序や台形パッキンの向きが間違ってないか確認してください。（A・B部詳細）

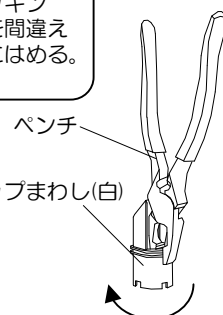
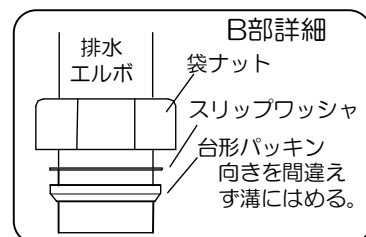
④排水エルボとSトラップを接続してください。

⑤排水パイプを排水蓋の穴に通してください。

⑥排水器具に排水エルボを接続し、Sトラップが排水蓋の穴の位置にくるように排水器具、Sトラップの向きを調節してください。

注）排水エルボは排水器具接続口の奥まで十分に差し込み調整後は袋ナットをしっかりと締め付けてください。
また、Sトラップへの差込み量が浅くならないように注意してください。

エルボ
約16mm
Sトラップ

排水栓
トラップまわし
スリップワッシャ(白)
シンク
パッキン(黒)
パッキン(黒)
排水器具
奥まで差し込む
排水エルボ
A
B
台形パッキン
スリップワッシャ(白)
排水エルボ
袋ナット
A部詳細
Sトラップ
平パッキン
袋ナット
排水蓋
排水パイプ
B部詳細
排水エルボ
袋ナット
スリップワッシャ
台形パッキン
向きを間違えず溝にはめる。

⑦排水栓の上にトラップまわしをはめ込んでください。右図のようにペンチでトラップまわしを持ち、もう一方の手でシンクの裏から排水器具を押さえて締め付けてください。

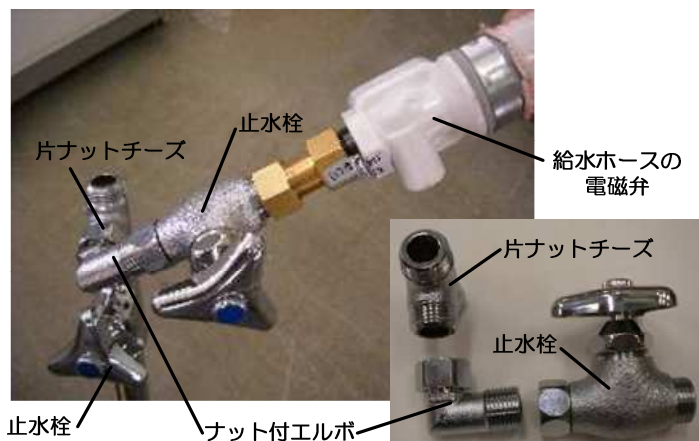
ペンチ
トラップまわし(白)

8. 加熱器具の設置

加熱器具に付属の設置説明書にしたがって行ってください。

9. 食器洗い乾燥機の設置

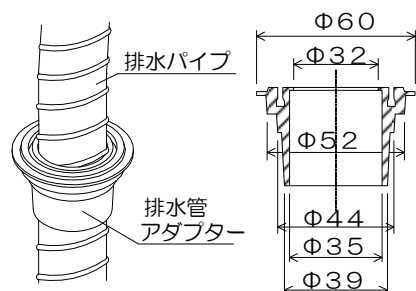
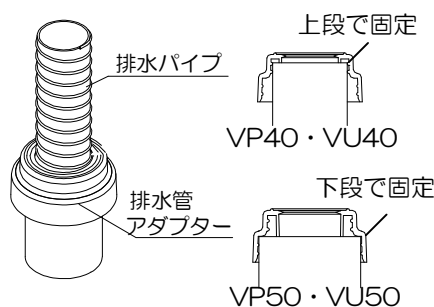
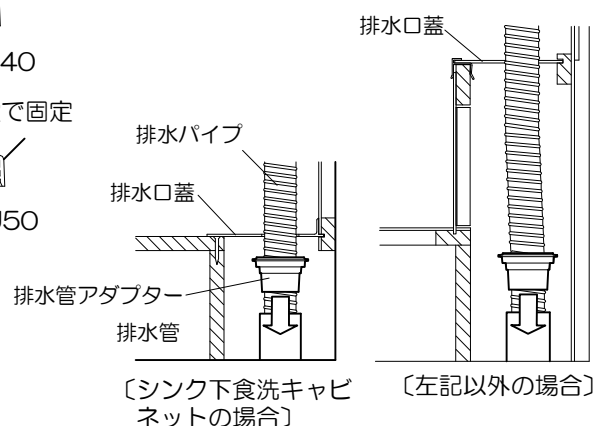
食器洗い乾燥機の設置説明書にしたがってください。

注）パナソニック製 間口45cmの食器洗い乾燥機は、給水ホースの先端に電磁弁が付いているため、接続しにくくなっています。
給水ホースが引出や収納物、トラップ等と干渉しないように接続するため、別売部品のナット付エルボを片ナットチーズと止水栓の間に取付けて接続してください。
ナット付エルボが無くても接続できる場合は、不要です。

１０．給水・給湯管と水栓の接続工事

●配管工事は各地水道局指定工事店に依頼してください。
●配管工事は水栓の設置説明書にしたがって行ってください。
●接続工事終了後、排水口蓋をネジで固定してください。（後工事がある場合は不要）

１１．排水管の接続

①排水パイプに排水管アダプターを取付けてください。
②排水管アダプターを排水管に差し込みスキ間のないように完全にシールしてください。
③排水口蓋を元に戻し、ネジで固定してください。

注）排水管アダプターは、２種類あります。形状を確認の上、下記を参照して作業してください。

VP-40（内径φ40）、
VU-40（内径φ44）、
VP-50（内径φ51）の
排水管に接続可能。

VP-40、VU-40、
VP-50、VU-50の
排水管に接続可能。

１２．エンドパネルの取付

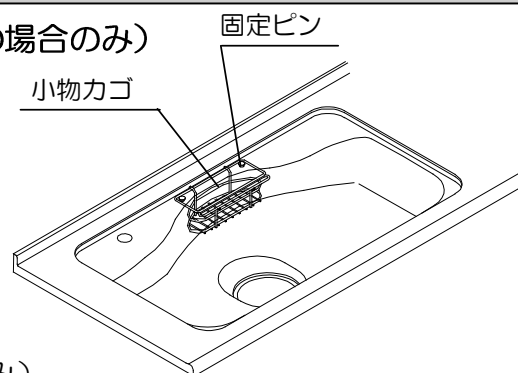
エンドパネルの取付は、エンドパネル付属の設置説明書にしたがって行ってください。

１３．収納部品の取付

【1．小物カゴ】（Zシンク、ＺＳシンク、人大シンクTの場合のみ）

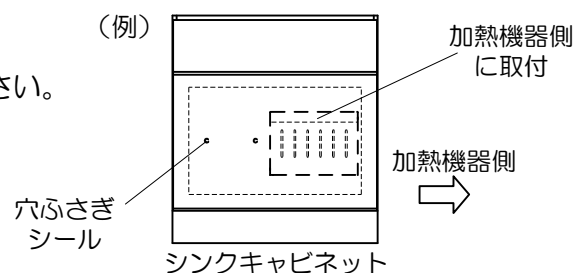
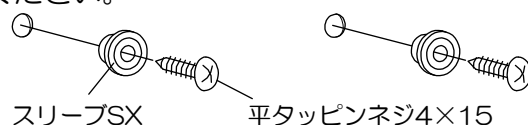
固定ピンに引っ掛けてください。

【2．排水プレート、アミカゴ】

排水器具内にワークトップ付属の排水プレート、アミカゴを
セットしてください。
（シンクの種類により、排水プレートの形状が異なります。）

【3．包丁差】（扉裏にホーローパネルが設定されるタイプのみ）

注）包丁差を取付けるときはネジの緩みや浮きのないよう、正しく取付けてください。
取付方法を誤ると、使用中に包丁差がはずれてけがをする恐れがあります。

①取付位置の確認
扉裏のホーローパネルには、4ヶ所の穴があいています。
包丁差は、シンキャビネットの加熱機器側に取付けてください。

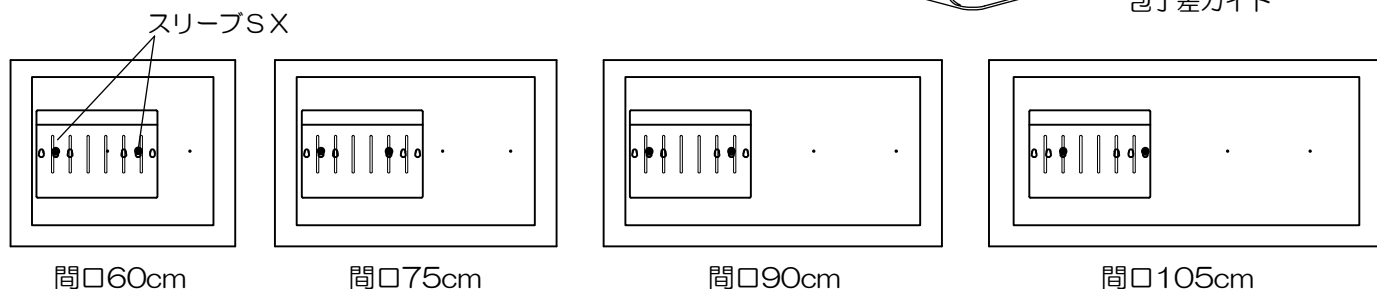
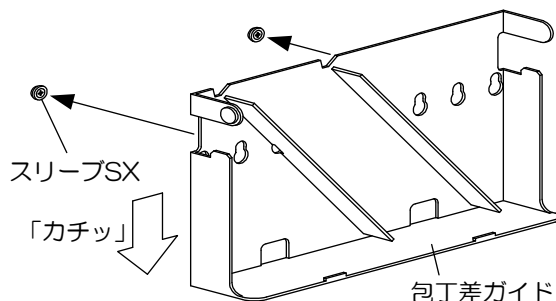
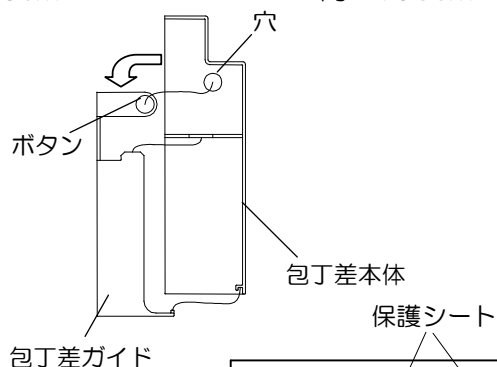
②スリーブSXの取付
スリーブSXを、ホーローパネルの取付穴の中央に
ネジで取付けてください。

③包丁差ガイドの取付
　包丁差ガイドをスリーブSXに通し、「カチッ」と
　音がするまで下に押しこんで固定してください。

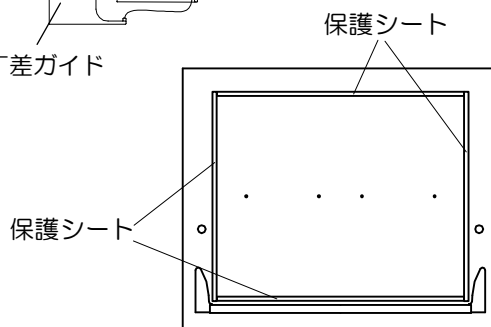
　穴が3ヶ所あいていますので、下図のように位
　置をずらして取付けてください。

間口60cm

間口75cm

間口90cm

間口105cm

④包丁差本体の取付
　包丁差ガイドのボタンを押しながら包丁差本体を差込み、
　本体の穴とボタンが合う位置に取付けてください。

⑤穴ふさぎシールの取付
　包丁差の取付に使用しないホーローパネルの取付穴には
　付属の穴ふさぎシールを取付けてください。

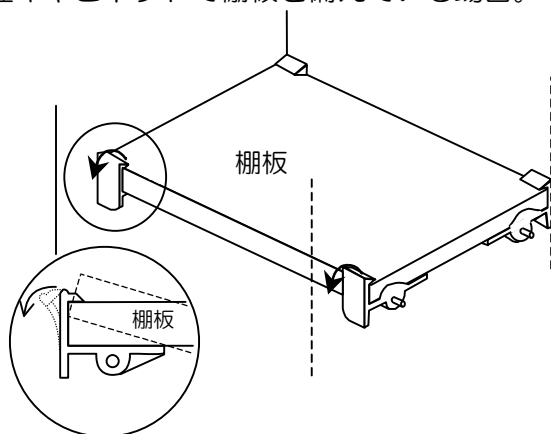
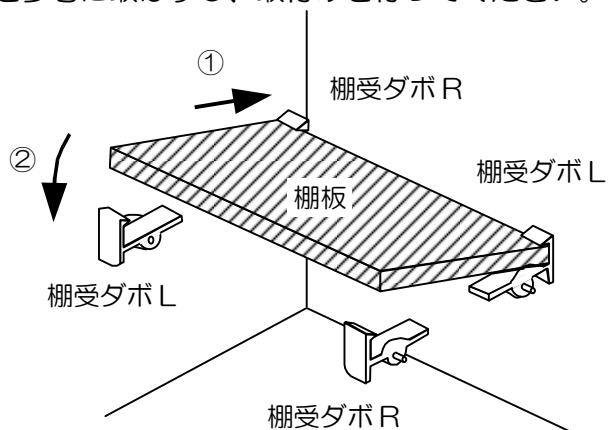
⑥エッジの保護シートの取り外し
　ホーローパネルのエッジに貼り付けてある保護シートを
　はがしてください。

【４．扉、引出、棚板】

①扉
　取りはずした扉を取付けてください。
　丁番プレートの前部のツメに丁番本体を引っ掛け本体部分を押し込むと固定されます。

②引出（スライド扉）
　取りはずしと逆の要領で、引出しをキャビネットに収納してください。

> 注）９０、７５間口の引出には、裏面に前板補強金具が取付けられています。
> 　　**引出の調整後、**キャビネットに付属のネジ（ナベタッピンネジ４ｘ12）で固定してください。
> 　　１４．扉の調整　参照

③インナーケース内引出し
内引出し側のレールをキャビネット側レールと合わせて、そのまま内引出しを最後まで押してください。

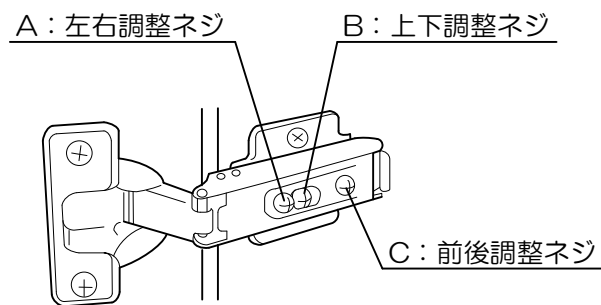
④棚板
調理キャビネットで棚板を備えている場合。下図を参考に取はずし、取付けを行ってください。

●棚板のはずし方
前側のダボの上部に親指をかけ、手前にはじいてください。

●棚板の設置
図のように棚ダボをしっかり奥まで差し込んでください。
奥の棚ダボに棚板を差し込み、次に前のダボの上から棚板を押し込んでください。

１４. 扉の調整

【１．開き扉】（丁番の調整）

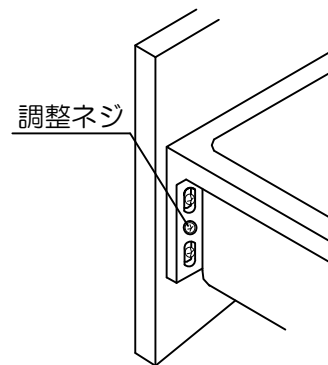
①前後調整
Cのネジを緩めることにより扉が前後に動きます。

②左右調整
Aのネジを調整することにより、扉が左右に動きます。

③上下調整
Bのネジを緩めることにより扉が上下に動きます。

注）調整終了後、緩めたネジを締めなおしてください。

【２．引出】（樹脂製引出）

引出表板裏面の樹脂引出部に露出しているネジを緩めると、引出表板が調節可能になります。

注）調整終了後、緩めたネジを締めなおしてください。

【3．スライド扉】

※スライド扉には(ア)：ローラーレールタイプ、(イ)：ソフトクローズレールタイプの2タイプがあります。

①スライド扉の左右方向の調整

(ア)タイプ：Cのネジをゆるめて左右を調整し、再度ネジを締め直してください。

(イ)タイプ：スライド扉側枠のカバーをはずして、側枠右側のAのネジを回して左右を調整して下さい。

②スライド扉の上下方向の調整

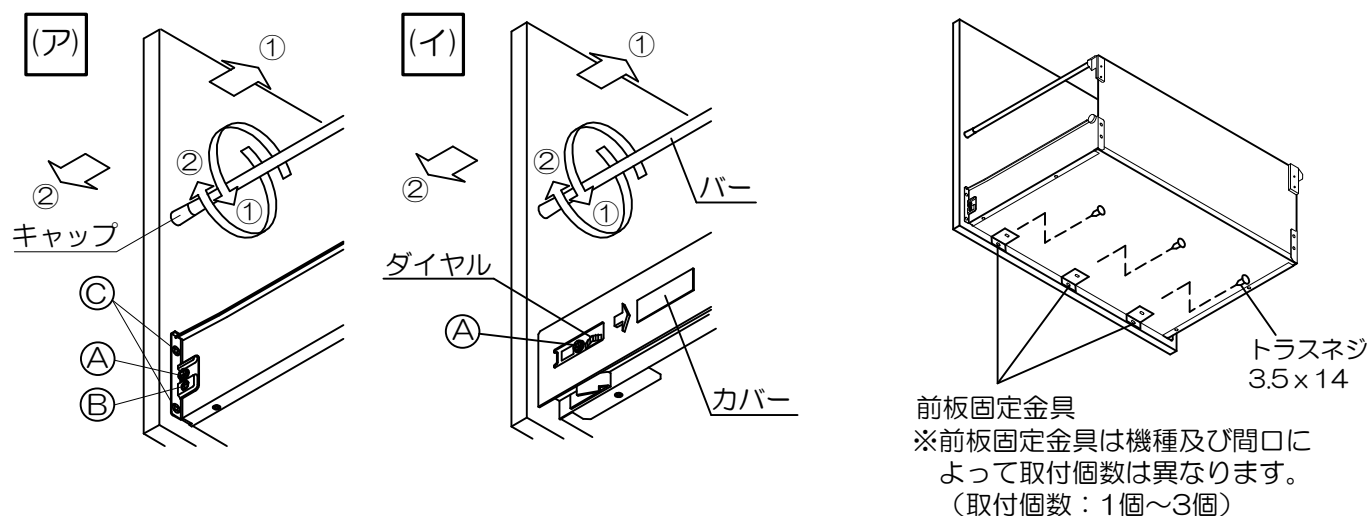
(ア)タイプ：Aのネジをゆるめた後、Bのネジを回して上下を調整し、再度Aのネジを締め直してください。

(イ)タイプ：スライド扉側枠のカバーをはずして、ダイヤルを回して上下を調整して下さい。

③スライド扉の前後方向(角度)の調整

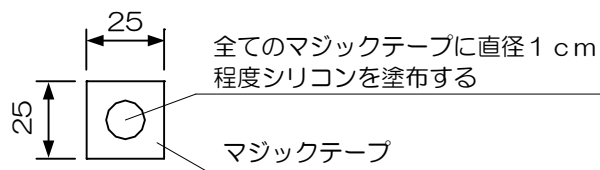
左右のバーまたはキャップを回して扉の角度調整を行ってください。

④仕上げ

調整後、60間口以上については前板固定金具と前板をトラスタッピンネジで固定してください。

5．仕上げ

【1．コーキング処理】

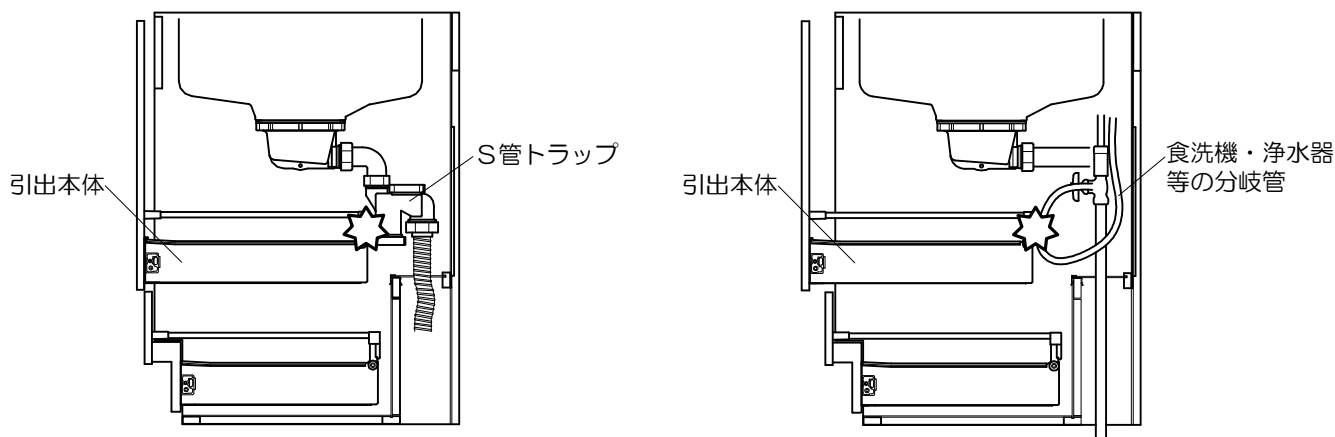
・ワークトップ周囲等、必要と思われる部分をコーキング処理してください。

・コーナーキャビネットに取付けてあるＦＩＸ扉はマジックテープのみで取付けてあります。設置終了後、ＦＩＸ扉の脱着が不要になった時点で、マジックテープ部にシリコンを塗布してＦＩＸ扉の固定を確実に行ってください。

【2．清掃】

ワークトップおよびキャビネットの汚れ、ゴミ等は、中性洗剤をつけた布でふきとってください。
洗剤を使用した場合は、必ず水拭き、空拭きを行い洗剤が残らないように注意してください。

6．安全点検および試運転

【1．安全点検】

①扉の確認
　扉の傾き、がたつきや丁番の緩みがないことを確認してください。
②排水部の確認
　排水トラップおよび排水パイプ接続部などに水漏れがないことを確認してください。
③配管部と引出本体の干渉の確認（スライドタイプ・足元スライドタイプの場合）
　Ｓ管トラップおよび、食洗機・浄水器等の分岐管と引出本体が接触していないか確認してください。
　もし干渉している時は、配管の位置を調整して引出本体と接触しないようにしてください。

【2．組込機器の試運転】

キッチンに組み込まれている機器類については、機器に添付されている試運転の方法または操作手順にしたがって正常に作動することを確認してください。

7．お願い事項

【1．商品の養生】

すべての設置が完了しましたら、ワークトップおよびキャビネットを保護養生してください。

【2．取扱説明書の保管・引渡し】

キッチンおよび組込機器等の取扱説明書・保証書はとりまとめて、キャビネットの引出しに収納しお引渡しの際、不足のないことを確認してお客様にお渡しください。
本設置説明書に関しても、次工程および保守等に必要な場合がありますので、取扱説明書と同様に保管ください。

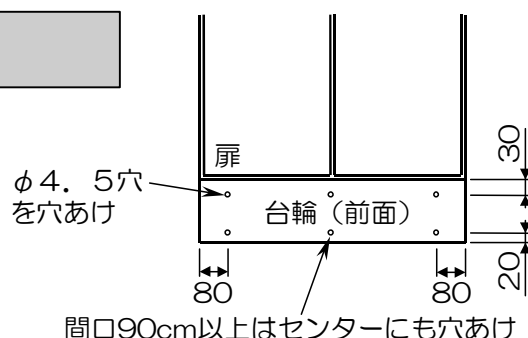
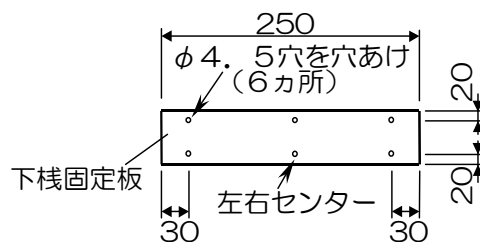
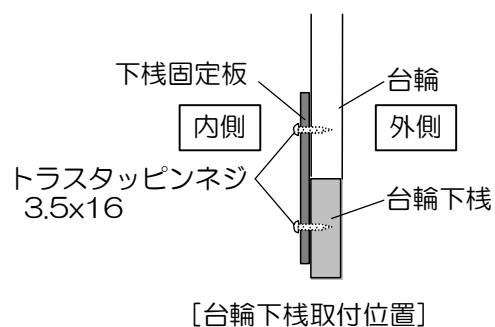
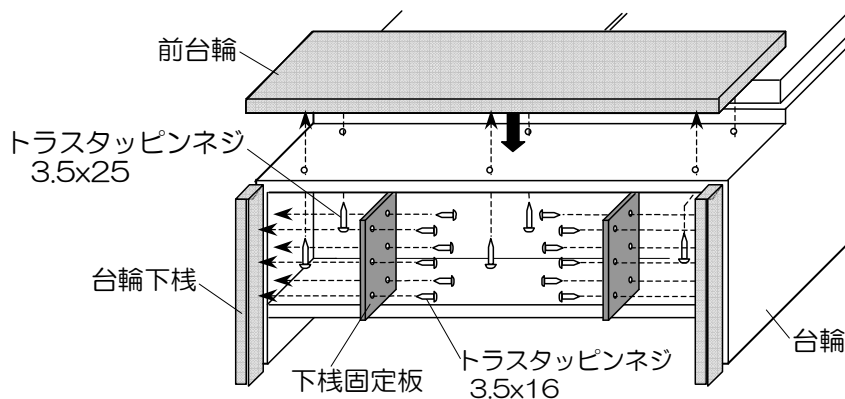
【3．梱包材その他設置部材の処理】

梱包資材等の不要部材は、法令にしたがって適正な処理をお願いします。

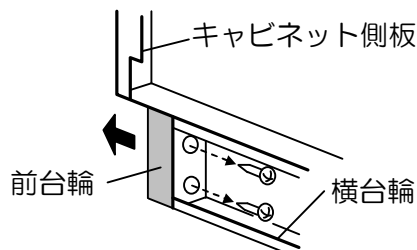
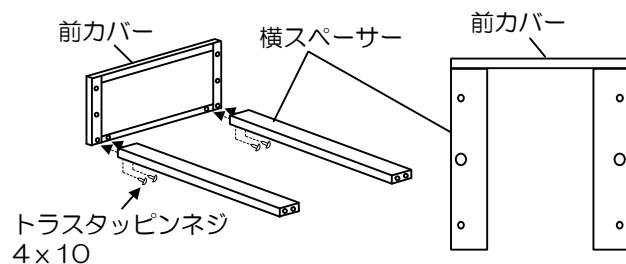
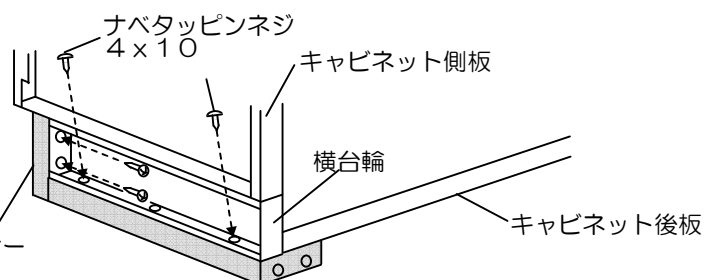
8．周辺キャビネット高さ90cm対応

トールユニット等の周辺キャビネットが高さフリー対応を行う場合は、以下に従って設置を行ってください。

1．木製キャビネットの場合

①台輪スペーサー取付前の下準備
　台輪前面の所定の位置に穴をあけてください。

②台輪スペーサー取付前の下準備（その２）
　下桟固定板を所定の長さにカットし、所定の位置に穴をあけてください。

③台輪スペーサーの取付
　１．前台輪を台輪裏側よりネジで固定してください。
　２．下桟固定板を介して、台輪下桟を台輪左右底面にネジで固定してください。

２．ホーロー製キャビネットの場合

①前台輪の取りはずし
　キャビネット本体の前台輪を取りはずしてください。

注意）はずしたネジは後で使用します。
　　　紛失しないようにしてください。

②台輪スペーサーの組み立て
　前カバーと横スペーサー２個を所定の向きに合わせ、ネジで固定してください。

③キャビネットへの取付
　台輪スペーサーの上にキャビネットを載せ、キャビネット本体横台輪よりネジで取付けてください。

④後はキャビネットに付属の設置説明書にしたがって設置を行ってください。

タカラスタンダード株式会社
本社 〒536-8536 大阪市城東区鴫野東１丁目２番１号
TEL ０６－６９６２－１５３１
11007517
3L-6